臺灣日日新報 夕刊
五月二十一日
夕刊定價一部貳錢
編輯人發行人 前野勝若
臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社

ホーロー看板 合名會社 木山標記本店 大阪市住吉區アベノ筋四 電話代表天王寺六五〇番

滿洲國内閣更迭

鄭總理が骸骨を乞ひ 大任張景惠氏に降下

新閣僚の顏觸れ

【新京二十一日發至急報】國務總理鄭孝胥氏は二十日宮内府に伺候、皇帝陛下に骸骨を乞ひたるをもつて、皇帝陛下は直ちに南軍司令官を御召になり、鄭總理の辭職並に後繼國務總理に就き意見を御聽取遊ばされたが、大任は別項にも記載せる如く張景惠氏に降下直ちに張新國務總理の特任式を擧行されたが、張新國務總理大臣は特任式後内閣改造の折衝を開始した、新總理の手にて銓衡さるべき閣僚は左の如くである

民政部大臣	濱江省長	呂榮寰
財政部大臣	龍江省長	孫其昌
外交部大臣	實業部大臣	張燕卿
軍政部大臣	第一軍管區司令官陸軍上將	于芷山
實業部大臣	交通部大臣	丁鑑修
交通部大臣	北鐵督辦	李紹庚
司法部大臣	(留任)	馮涵清
文教部大臣	國都建設局長	阮振鐸
宮内府大臣	財政部大臣	熙洽
參議府議長	民政部大臣	臧式毅
參議	宮内府大臣	沈瑞麟
駐日公使	外交部大臣	謝介石

閣僚の特任式は二十日午後擧行の豫定であつたが、都合に依り二十二日午前中に擧行さるることとなつた

滿洲國政府發表

【新京二十一日發至急報】滿洲國政府發表 國務總理鄭孝胥は嚢て陛下に辭表を捧呈したるに對し今二十一日聽許あらせられ、其の後任として參議府議長兼軍政部大臣張景惠に大任降下した 今二十一日午前十一時宮中において特任式擧行される筈、參議府議長其他に對しては張總理において銓衡中なり

新國務總理のみ けふ特任式擧行

鄭孝胥氏は元老に 皇帝御輔導の大任を擔ふ

【新京二十一日發至急報】滿洲國内閣異動に付き二十一日午前十一時宮内府において新國務總理張景惠氏のみに對し特任式擧行され、滿洲國皇帝陛下より左の如き特任があつた

參議府議長兼軍政部大臣 陸軍上將 勳一位 張景惠

任國務總理大臣

同時に左の辭令あつた

國務總理大臣 鄭孝胥

依願免本官

國務總理大臣を辭任した鄭孝胥氏は元老として今後皇帝陛下御輔導の大任を擔ふこととなつた

新總理の横顏

昔は張作霖の配下

【新京二十一日發】新總理張景惠氏は鄭孝胥總理の後任として滿洲國の重責を負つて立つ事になつた張景惠氏は奉天省臺安縣の產、今年六十五歳といふから甘の乘り切つた年輩であり…

×　×

自頭山の朝風に鬣を靡かせたのもつかの間、滿韓後再度對に現分の張作霖が歸順すると彼も共に東北巡防隊に加はり、後には奉天講武堂に入つて正式教練を受け今日を爲す素地を築いた者である

×　×

作霖が東北四省に君臨してゐた當時は同じ緑林の出であつた張作相と共に同志、黒竜江を采け、一九一三年には騎兵廿八師長、一九一五年には陸軍少將となり第一次奉直戰の敗退から一時京津間に潜竄した事もあつたが、一九二四年には返り咲き…

陸相はけふ 滿洲へ出發

お土産に多大の期待

【東京二十一日發】林陸相は愈々二十一日午後二時東京驛發永田軍務局長、大城戸滿洲系長等を伴ひ滿洲視察旅行の途に上る事となつた 陸相一行は吉林丸で二十五日午前九時大連に上陸、旅順、關東州廳其他を視察したる上、新京に赴き滿洲國皇帝陛下に謁し、南關東軍司令官を始め、日滿要人と會見、日滿經濟關係問題につき意見を交換、各地を視察したる上、哈爾濱、齊々哈爾、奉天、天津を經て…

方面の第一線部隊をも親しく視察し…陸相の使命は陸相として最初の…滿洲國に對する…

震害復興豫算は 千六百萬圓程度

東上の途 中川總督語る

【門司二十一日發】震災善後策協議の爲め東上の途にある中川臺灣總督は…

機關說問題の 至急措置を要望

陸海大臣が訪ねて けふ閣議に先立つて首相を

【東京二十一日發】林、大角兩相は二十一日午前九時五十分首相官邸に岡田首相を訪問し…

鄭總理の願望 遂に御聽許

餘生を樂しみたいとの

【新京二十一日發】滿洲國國務總理鄭孝胥氏は大分前から辭職を乞ひ閑靜の身となつて餘生を樂しみたいとの希望を有してゐたが…

(寫眞は張景惠氏)

エ國境紛争を 俎上に 聯盟理事會開く

處理如何で崩潰の危機に

【ゼネバ二十日發同盟】第八十六回聯盟理事會はエチオピア問題を俎上に…

秘密會

遂に上程に 至らず

【ゼネバ二十日發電通】エチオピア國境紛爭問題の…

勅任調査官の 人選行惱む

今週中には決定か

【東京二十一日發】内閣調査局勅任調査官の人選は…

總裁更迭には 絶對反對

鳩山一郎氏談

その日その日

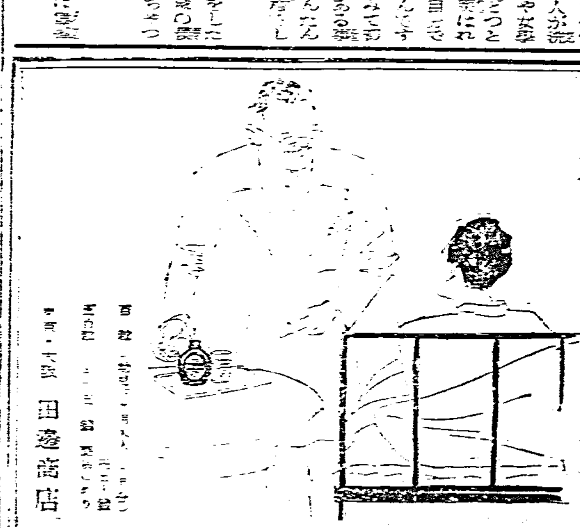
全島理蕃視學 打合會

無絃琴

朗らかな人生 (48)

突貫主義 (8)

光明静夫作 田中比左良畫



肺・肋膜の補強に ハリバ

結核に罹らぬため

或に一旦感染した病菌を驅除するために、肝油が不可缺の抗病素であることは充分承知して居りながらこれを服まうとしないのは、毎日續けてあの腥い大量の油を服むことが非常に苦痛で初めは我慢しても途中で飽つて來るからでこの服み難いと云ふ缺點さへ除ければ肝油ほど呼吸器の補強に良い營養劑はないのです。

セルマン氏等の實驗によるとヴイタミンADが缺乏すると結核性の肋膜、氣管支や肺・肋膜が一ばん冒され易いとのことで、結核の感染は體内にヴイタミンADの供給が不充分だからとも言ひ得るのです。

春から夏にかけての、冒され易い時季に於て呼吸器の弱い方は、體内に强力な闘病榮養素ヴイタミンADを蓄積され、結核菌や呼吸器病菌の感染を防護せらるべきです。

現在に於てヴイタミンADの最も豐富な給源は鮃魚肝油で、それから造られた小豆大のハリバ一粒には一茶匙の肝油に相當するヴイタミンが均等に含まるべく出色試驗で一定されて居り、これまでの肝油の何十分の一の微量服用で足りることになりました。

東京・大阪 田邊商店

サンガー夫人曰く
サツクが 一番安全なり
サツクは ハート美人と ホワイトハートが 一番完全なり

ホワイトハート

ブラタス島の漁民保護に
驅逐艦『夕風』急行
廿日夕＝馬公發航

（馬公二十一日發）驅逐艦『夕風』は二十日夕刻ブラタス島に向け漁業者保護の爲め急行した

協定蹂躙の匪賊は
斷乎討伐に決す
高橋北平駐在武官より
何應欽代理へ通告

【北平二十日發電通】停戰協定を無視して非武裝地帯遵化縣に侵入せる熱河便衣隊孫永勤匪賊に對する我軍の討伐に付き高橋北平駐在武官は二十日午後一時支那側北平軍事分會代理の何應欽氏の代理鮑文樾氏に對し支那側は從來屢々熱河より停戰協定區域へ逃入せる匪賊に對し何等の處置を執らざるのみか却つてこれを保護し來れる事實あり孫永勤匪の遵化侵入も將に同然である、我軍は停戰協定に基き斷乎討伐を開始する旨を通告した

杉原○○團出動す
遵化に向け進軍

【北平二十一日發電通】遵化附近に集結中の孫永勤匪は兵力約二千小銃六百を有するが我が杉原部隊○○の[illegible]のため二十一日午前八時三十分山海關發南下したが左の日程で[illegible]する
△二十一日[illegible]分駐所△二十二日[illegible]△二十四日[illegible]△二十五日[illegible]△二十六日[illegible]△二十七日[illegible]△二十九日[illegible]

天皇陛下還幸

【東京二十一日發】去る十七日以來葉山御用邸に御避暑中の天皇陛下には二十一日午後三時四十分東京驛御着車、天機殊に御麗はしく宮城に還幸あらせられた

沼川憲兵隊長
召集事務檢閲

沼川憲兵隊長は管下各分隊分遣隊[illegible]○○○名は二十日朝來行動を開始し既に[illegible]方に進出し一氣にこれを殲滅すべく遵化に向け進撃中である

（寫眞は片倉製絲[illegible]に於ける一行）

愛婦日赤會員
内地視察

（本社東京支局發）臺灣に於ける愛國婦人會に赤十字會員の一行は大會出席を兼ね内地視察をなすべく上京の途門司、[illegible]多、宮島、大阪、京都、名古屋を經て東京、去る八日の大會に出席し更に各地を視察したが去る十一日片倉製絲[illegible]を視察、同社の[illegible]

新日本海員組合
盛な結成式
今の所社外船が中心

【神戸廿一日發本社特電】社外船水火夫長友誼團體なる日本海友クラブを中心に新組合樹立、烽火をあげた日本海員組合革正派では二十日午後五時より神戸市立海員會館で新日本海員組合の盛な結成式を擧げた第一組合を語つてゐた日本海員組合もここに全く分裂革正派は新組合の擴大強化に邁進する事になつたが同組合は今の所石原、山下、川崎、大連、[illegible]の所謂社外船が中心であるが社船にも呼びかける筈で注目されてゐる

對岸行きの
石炭激增
盛京丸の情報

【基隆電話】商船北支航路盛京丸は二十一日未明基隆に入港したが同船で齎された情報左の通り
一、[illegible]の輸出に對し嚴重なる[illegible]
二、福州公安局ではこの五月始めより阿片吸飲者の登錄許可制度を布く事となつたが所謂の時私者が後難を恐れて逃げ廻つてゐる爲めサッパリ成績が擧らぬ狀態であると
三、最近對岸各地への本島よりの石炭輸出多く月平均約二萬噸の[illegible]

目下エヂプトのアレキサンドリア市では一[illegible]「アレキサンドリアの[illegible]」として[illegible]センセーションを[illegible]

内外の學者百人
明年北海道に集る
一分五十六秒の皆既食の爲

【東京十九日發】明年六月十九日の皆既食は北海道はじめ[illegible]、皆既食の時間に[illegible]一分五十六秒[illegible]我が天文學會は早くも[illegible]

日本にも内外の學者百人は集まらう
[illegible]

【大阪二十日發本社特電】[illegible]

死んでも別れられぬ と
愛妻の死體と逢瀬
十日間も樂んでゐたグロ男
警察が懇談して漸やく埋葬

[illegible]

船體、積荷とも
沒收さる
支那海關監視船に

【基隆電話】この程基隆を出港せる支那我京船金新興號は對岸福州に於て、支那海關監視[illegible]に發見され[illegible]沒收された[illegible]に入電があつた

憔悴して明月
溝に歸還

【明月溝二十日發】被拉致者一同を[illegible]

妻の妹と
駈落ち
福岡から基隆へ

【基隆電話】二十日基隆入港[illegible]

毆られた恨に
監督を突落す

[illegible]

清水酒課長
嚴父逝去

[illegible]

精神異狀から自殺

[illegible]

激浪に浚はれ溺死

【基隆電話】[illegible]

臺北エス語會例會

臺北エスペラント會では來る二十四日午後七時から[illegible]例會を開催する由

酒、小賣人ら視察

【基隆電話】[illegible]

臺北
臨時競馬
來る廿五、六日來月一、二の四日間
川端馬場で開催

諸經費

[illegible]

長距離

[illegible]

春競馬

[illegible]

簡保の活動寫眞
映寫の夕

臺北郵便局では[illegible]

太田胃散
賓質本位
盛んに賣れてゐる胃腸藥
本舖 東京 太田信義藥房

メガホン塔

あすの天氣

（臺北測候所發表）
[illegible]

概況 （二十一日）[illegible]

潮汐（廿二日）[illegible]

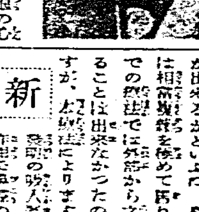
各地氣温（二十一日午前十一時）[illegible]

ハギレ卸
國津村合資會社

メリヤス
夏物品揃
オーミヤ
時報進呈

臺日案内
內地土産 屏東木瓜 桐田商會
屏東木瓜 矢野商店
寫眞 トウゴーカメラ
時計眼鏡 和田はメガネ專門
メガネ專門日光堂
メガネ專門金光堂
旅館 山一旅館
洋服 永樂ホテル
洋服注文は共進堂へ
染物洗張
入退營期
ラヂオ器械 ラヂオ二一八
雜件 文化卓子椅子
商品券債券電話
子供服
玄米精乳と牛乳

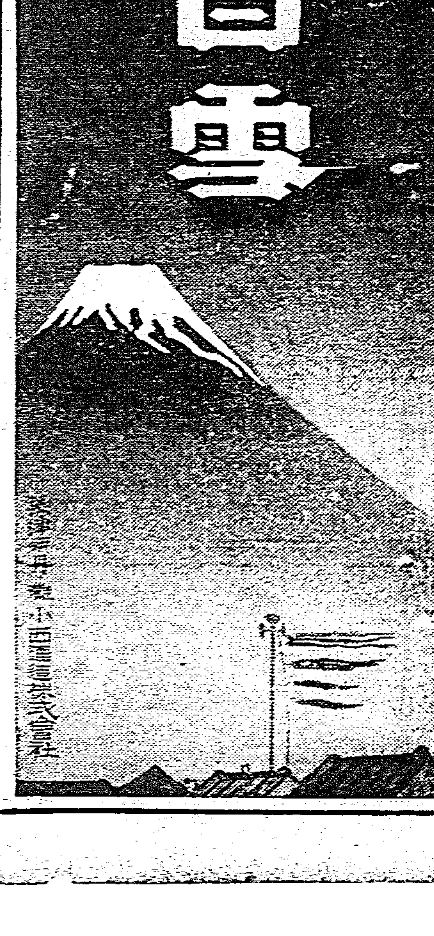
鼻の病に注意せよ
頭の悪い人は鼻が大概悪い
放つて置くと記憶力判断力が鈍る



鼻 記 理 新
[illegible]

無代頒布
東京市麴町區元園町一ノ五一明光社宛[illegible]

銘酒
白雪



旅は道づれ、ノーシン連れ（船、汽車、酒の惡よひもごし）

大正かとり線香

蚊よけクリーム
モスキトン
蚊、蚤、虫粕の痒みと腫を治す

ゴーで進め
はれやかは
利く一方

軟派珍書

流行歌の戰車陣！
流線型ヨ（流線節）
男ごころ女ごころ
タイヘイレコード

親鸞聖人 (215)

（上映）吉川英治作　山村耕花畫

女人篇

霰（五）

「おうい、一休みやらうぢやないか。」

谷へ向つて一人が呼ぶ。

「おうい。」

そこからも聲が湧いた。

四、五人の若い學僧たちが出かけたので、この冬籠りのうちに焚き盡くして乏しくなつた薪を採りに出て來たのである。雪に折れた樹枝や四明颪に吹かれた松葉が、澤にも峪にも地もつてゐた。その谷

間はやうやく淺い春が訪れて來て谷川の縁の方には鶯の啼きが聞こえ、樹々は紅い眼を點じてはゐるが、ふり仰ぐと、鞍馬の奥の峰の肩には、四明ヶ嶽のふかい襞にも、まだ殘雪が白かつた。

「やあ、ここは暖い。」

南向きの谷陽へ、學僧たちは薪の束を擔ひあげて車座になつた。太陽の温みを持つてゐる山芝が人人の膝を暖かに囲んだ。

「長い冬だつたなあ」

「やつと、俺たちに春が來た。」

「春は來たが……。山は依然山として山だ。谷は依然として谷だ。明けても暮れても薪が住居ぢや。」

「味氣ないと思ふのか。」

「人間だからな。」

「それに克つのが修行だ。」

「時々、自慢が崩れかかるんだ。修行々々と云つても、俺たちは何うしても、抜け道を作らずにゐられない。そつと山を下りて人間の空氣を吸ひに出ることだ。そんなことをしてゐたつて、克つことにはならないぢやないか。ただ、不斷の中に生きてゐるだけだ。」

「さう、むきになつて考へたら、僧院の中に住めるものか。よろしく中庸を得てゆくことだ。たとへば、大乘院へ籠り込んだ範宴少僧都などをみるがいい。」

「いろいろな噂があるが、あれは一體、どうしたことだ。」

「おい。」

と、一人の宵をのぞいて、

「貴公は今朝、ここへ來る前に、澤川の範宴谷へ、何か、使をたのまれて行つて來たのぢやないか。」

「うむ、四王院の阿闍梨から、書面をたのまれて聞いてきた。」

「範宴はゐたか。」

「わからん」

「誰がゐるのだ今あの寺には。」

「性信らしいのが庫裡にゐたが、らんとして、空寺のやうに奥は谷なくて暗かつた。たしか、去年の初夏の頃から、東山聖光院の門跡範宴が上つて來て、あれに閉ぢこもつてゐるわけだが、彼の姿などは見たこともない。坊官も弟子も居るのか居ないのかわからん。をかしなことだ。」

「それや居ない理だ」

と一人が皆でうすく笑つて、

「範宴は、聖光院の方には勿論居ないし、大乘院にも、居ると見せても、實はそこにも居ないのだからな……眞暗ものだよ。」

何か火のやうな光りが近くの澁木の中から谷間の空を斜に切つて行つた。人々の眼は、そこへ惹かれて行つた雉子の蹤を趁つと見ながら何やら考へこんでゐた。

映畫消息

嘉義シネマ・リーグが座談會を開催

嘉義シネマリーグでは、來る二十三日夜七時から公會堂で映畫に關する座談會を開き、會員二百五十名中の希望者有志が、鑑賞者側を代表し、之に嘉義に於ける言論機關、取締警察、教育界、興行界等に携る人々が加はつて、映畫に關する諸問題を取扱ふが大體左の如き問題が豫想される

▲最も印象の深かつた映畫と俳優と監督▲映畫興行への註文▲觀衆から見たファンの種々相▲觀客吸引策賛否心談▲トーキー映畫と解説▲理想的な興行形式は何か▲小中學生の映畫觀賞入場制限問題▲映畫の藝術的價値と興行價値▲トーキー出現以後の諸問題▲映畫を將來どうするのが理想か

雜誌紹介

▲幼年倶樂部（六月號）子供のよろこぶ面白い色刷の繪や、ためになる讀物や、興味本位のお話などを滿載してゐる。附録は宮尾しげをの繪本孫悟空三藏法師の一行が天竺にお經をとりにゆく途中の數々の化物退治のお話を漫畫にしたもので、なかなか愉快である。物語も繪も味があつて上出來子供ならずとも讀みたくなる。同誌これはふしぎカード附録としていれてある（定價四十錢東京市小石川區音羽町三ノ十九大日本雄辯會講談社）

最近着の雜誌

▲ビジネス（五月號）▲全日本選手運動（第十五號）▲商（五月號）▲金曜會パンフレット（第百四十三號）▲幼年倶樂部（六月號）▲原理日本（五月號）▲まこと（第二〇三號）▲臨時（五月號）▲教育女性（五月號）▲榻（創刊號）▲つはもの（第四百九十四號）

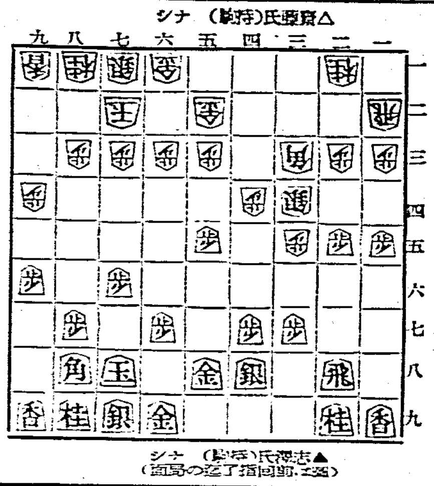
名家敗退將棋（其三）

（齋藤氏三回勝四人目）

香角香交　七段　△齋藤銀次郎

左香落　四段　▲志澤春吉

△齋藤氏（持駒）ナシ



▲志澤氏（持駒）ナシ

（第四十四手指了迄の局面）

△四三金▲五七銀△八二玉▲六八銀上ル△七二銀▲五六銀△二二飛▲四六歩△六四歩▲五七銀△六二銀

△齋藤七段曰く　四三金に防禦は薄くなるが五四歩の逆襲を狙ひました此金が攻めに使へなければ五五歩の位負けが惡くものです

▲志澤四段曰く　五七銀は六八銀の手もあつたが五五歩と突越してゐる形では此銀が必要であります

△齋藤七段曰く　八二玉は六二銀といづれが本手であるかと思ひ深く考んだが一手づつ玉の防備を厚くすべきでせう

△齋藤七段曰く　二二飛は最初から一四歩と香を走られさうであるが同歩同香の時二四歩の受けがあつて惡くないつもりでした

▲志澤四段曰く　五七銀は一四歩と攻付けたかつたが敵の形が少したけに辛抱して機會を待ちました攻め急いでは何時も惡い兵に利せられます

◇大崎八段講評　齋藤君の四三金は無理の嫌ひがあるか四五歩を狙ふことは當然くしつつ五四歩の突出しを狙つて上手の着手としては賛成すべきではない次に二二飛は早過ぎた六四歩四六歩と七四歩と位をとつて敵の着手を見るべきである志澤君の四六歩及び五七銀は一四歩と攻めたい氣持を押へつつ位を確保して機會を待つたは手堅であつた實戰に於ては[illegible]

ビクター 六月新譜（五月廿日發賣）

長唄　菖蒲浴衣　松永和風
民謡　田植唄・馬子唄
舞踊　御所のうちに
舞踊　御殿の袖
三曲合奏
尺八　乃木將軍
アコーディオン　谷の灯ともし頃　M・デュフール
マンドリン　紐育の歩道
三味線　投げぶし・新内流し
映畫伴奏曲粹第三輯（六枚）
詩吟　芳野懷古・酌酒與裴迪
ジャズソング　戀の花束
ジャズソング　二千萬人の戀人
ソング　御料理番

流行歌

無情の夢
椿の丘
銀の小箱
いろは娘
ナイショぶし
しぶきを浴びて
野良の春
水郷ぶし
伊那節・深川

歌舞伎劇
映畫說明

浪花節大衆盤　一枚一圓
佐倉義民傳（三枚）
加賀萬松五郎（二枚）
小山田庄左衛門（二枚）
鼠小僧（二枚）

洋樂

ドビュッシー特輯
ピアノ曲集
弦樂四重奏曲
子供の領分　組曲
蕩兒　前奏曲
三つの譚歌

クラヴサン曲集
輕騎兵　序曲
交響曲
セレナーデ
ハワイの夢
碧きドナウの流れ

腸の醱酵に　タカヂアスターゼ?

腸の醱酵に　ダイモール

慢性の胃腸病で永年の間種々盡せども一向捗々しくないときにダイモールをお勸めします。
急性の腸カタールで腹痛・下痢の場合には實に顯著的效果を現わします。
其他チフス・赤痢の豫防に、腹部冷え、治療に、水あたり、食あたりの常備として是非ダイモールを!!!

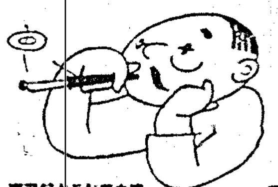
株式會社鳥居商店

ポマードリン　資生堂

近代人の要求にピッタリ合つた創形式ポマード!

仁丹香錠　こばた

爽快に



〔ジンタン〕に　が第一

カモ井のハイトリ紙

專賣特許推薦國産

カモ井リボンハイトリ

發賣元　株式大谷商店　大阪博勞町

巡査

日本警察學會

一番ヨクキク

金鳥の渦巻かとりせんかう

效力！火持！他に比類なく需要者本位で眞に經濟的です!

蠅 南京ダニ家蚤 退治に……キンチョール

錠劑新藥 バンドマン

病患掃蕩の急先鋒!!

榮養を增進し胃腸を強化する

主效　消化促進　榮養補給　精力增加　老衰予防　便秘解消

●船よひ汽車よひ酒のよひ　ノーシン　ありやこそ心配なしだ●

(F)

原料製造元　帝國製藥株式會社

キヽメ火持の一番よい　安住蚊煙香

一匹の蚊
一夏に千匹の蚊に繁殖
一本の猪印
一夜に千匹の蚊を撲滅

世界五十餘ケ國に輸出
卽ち全地球人類の約八十パーセントの需要

本舖大阪　株式會社安住大藥房

滿洲國內閣更迭
新國務總理大臣張景惠氏
新外交部大臣張燕卿氏
謝介石氏爲駐日公使

國務總理鄭孝胥氏。二十日伺候宮內府。謁皇帝陛下。乞骸骨。皇帝陛下。召南軍司令官。而就鄭總理辭職。就後繼國務總理聽取意見。結果後繼內閣人物。決定國務總理大臣張景惠。財政部大臣。孫其昌。外交部大臣。張燕卿。司法部大臣。馮涵清(留任)文敎部大臣。阮振鐸。交通部大臣。李紹庚。宮內府大臣。熙洽。參議府參議。沈瑞麟。同丁鑑修。實業、軍政、民政未定。謝介石氏內定駐日公使。二十日。新京來電云。

滿洲國新內閣 閣員決定

新京二十一日電。至急報。照新國務總理大臣。於特任式後。即改造內閣。新總理。銓衡閣僚如左。民政部大臣卽濱江省長呂榮寰。財政部大臣龍江省長孫其昌。外交部大臣實業部大臣張燕卿。軍政部大臣卽第一軍管區司令官陸軍上將于芷山。實業部大臣交通部大臣丁鑑修。交通部大臣北滿臨事李紹庚。司法部大臣(留任)馮涵清。文敎部大臣國都建設局長阮振鐸。宮內府大臣財政部大臣熙洽。參議府議長民政部大臣臧式毅。參議宮內府大臣沈瑞麟。駐日公使外交部大臣謝介石。

鄭孝胥氏 勅爲元老

新京二十一日電。國務總理大臣鄭孝胥氏辭任。今後爲元老。輔導皇帝陛下。

新國務總理 特任式

新京二十一日急電。滿洲國內閣異動。二十一日午前十一時。宮內府內。只爲新國務總理張景惠氏。舉行特任式。滿洲國皇帝陛下。特任如左。

參議府議長兼軍政部大臣陸軍上將勳一位 張景惠
任國務總理大臣

國務總理大臣 鄭孝胥
准予開缺

臺灣產金會社 近將創立

橫山長七氏其他。已蒙許揭花蓮港廳下金鑛區兩處計百三十萬坪。因欲創設臺灣產金株式會社。不久將開創立總會。資本金按三百萬圓。株式十五萬株。一株金額。繳納二十圓。前已於新安試錐。去四月九日對第一號坑。一日平均掘下六尺二寸半。十六日間深達百尺。成績良好。深度五十尺至六十尺之間。砂金採取數九十九粒。八九十尺之間。得六百二十三粒。地面至深度百尺之間。計得九百六十九粒之金粉云。

臺博宣傳歌 現公募中

既報臺灣博覽會協贊會。公募中之宣傳歌。期間至二十五日截止。此歌欲吹入曲盤。配付本島及內地。極力宣傳。歌詞係歌謠曲及進行曲各一篇。賞金一等各百圓。又公募之宣傳圖。則至六月十日截止。賞金一等百圓。二等五十圓。三等三十圓。該會事務所。現陸續接到應募圖案中云。

臺博會期中 學務行事 督府開會議

總督府學務課。于二十一日午後一時。在府內會議室。召集臺灣博覽會學務關係者等。就會期中。學務所關行事其他。種々磋商中云。

大溪自動車 已得批准 按來月中運轉

既報大溪街。一般商工業者。爲順應產業五箇年計畫。圖地方交通發達。組織大溪自動車株式會社。已得當局許可。去十九日午後七時。開發起人會。於中林氏宅。出席者二十餘名。各熱心協議進行方針。一、株金拂込。本月末日。二、創立總會。來月中旬。並開始運轉云。

銀價變動金融不安 厦門南祥錢莊倒閉 銀行集銀以防滾票

大吉祥行汽船湾南號。去十七日入厦門港。自上海中央銀行本店及中國銀行本店。合計輸送白銀一百萬元於厦門。同日午後三時。各以五十萬元。貯入厦門中央銀行支店及厦門中國銀行支店。據某銀行家談。近日中厦門其他各銀行。亦由上海陸續輸送白銀而來。在銀行當局。各銀行倉庫中。準備白銀甚多。各銀行如是力備白銀者。蓋慮最恐時難應滾票。現在白銀之正式輸出及密輸出。相當巨額。又正式輸出或密輸出。實不得阻止。銀行業者或錢莊業者。積極的買收古銀白銀貨幣。於是紙幣愈形不安。小銀及銅貨行情。日中數次變動。銀行難保不遭滾票。又去十七日。經營臺灣滙兌之南祥錢莊。亦負債二十餘萬元而倒閉。金融界不安時代。錢莊之倒閉。或見繼出也。

調查局 不得希望之人物 至六月一日難整備 有關吉田官長面目

東京二十一日電。吉田調查局長官。關於勅任調查官銓衡。以其爲國策審議實質的中樞部。必欲網致各省第一流人物。先商技資源局松井總務部長。任命首席勅任調查官。爲擢大藏省賀屋主計局長。商工省岸工務局長。農林省井野蠶絲局長。內務省社會局換問社會部長。或大村長野縣知事等。二十一日閣議。正式決定。各省當局。各藉口於事務上之都合。不應其希望。至二十一日。不能決定。暴照當初方針。至六月一日。整備陣容。不得不降格。而選致其次之人物。時或關吉田長官之面目問題。而使失所期待云。

陸軍當面問題 陸相招次官 議決處理

東京二十一日電。陸相二十日午前午後約三時間半招橋本次官於官邸。商議留守中之事。當面問題。決定本陸相之意。處理如左

一、機關說問題。陸軍對司法處分問題。人的問題。各學校講義實際問題。務以政府態度要望善處。

一、明年度豫算。滿洲事件費之豫算。要待陸相歸京後著手。留守中首研究第二國防充實費所關事情。

一、對內閣審議會問題。擬對調查局送陸軍側調查官。爲鈴木貞一大佐。適當機會發表。審議會附議財政國防調和問題。保留至陸相歸京之時。

一、八月定期異動。止於佐官級以下之研究。其他待陸相歸京。

籌發內債 償還英債 一億二百萬圓

東京二十一日電。明年一月。還期到來之滿鐵英貨債六百萬磅。政府既決定現金償還之方針。大藏省正金銀行。均慮國際貨借有所影響。務使滿鐵充其他萬無遺算。同時政府且發現金償還財源所要內國債一億二百萬圓之程度。其發行時期。或十一月頃云。

被綁之人 安歸明月溝 一時皆無生氣

明月溝二十日電。在拉致者一同。收容於東安道之報一接。在明月溝部隊。立以軍用貨物自動車一臺(兵〇〇名)。領事館自動車一臺(兵〇〇名)。及鐵路局乘合車編成救援自動車隊。滿載食糧品。治療藥品。二十日午前七時四十分啓程。午前十時到東安道。診察救拉致者。久遭虐待。皆無生氣。及見救援隊。一時鼓舞。午後一時三十分。移乘自動車。發東安道。午後四時。安歸明月溝云。

決定伐匪 高橋駐平武官 告何氏代理

北平二十日電。我軍以華匪、孫蘭停戰協定。侵入非武裝地帶遵化縣。而熱河擾亂匪賊孫永勤匪賊。高橋北平駐在武官。二十日午後一時。訪中國責任當局北平軍事分會。面告旅行中之何應欽氏代理鮑文樾氏。以中國側從來對屢自熱河逃入停戰協定區域之匪賊。不特無所處置。反從而保護之。孫永勤匪。侵入遵化亦同。我且照停戰協定。斷然討伐云々

杉原團決定 討伐孫匪 望遵化進軍

北平二十日電。遵化方面集結中之孫永勤匪。兵力約一千人。帶有小銃六百。我杉原混成團〇〇〇名。二十日與來。開始行動。且既已進出長城線南方。望遵化進軍。一氣殲滅之。中云。

能高郡產組 開研究會

能高郡產業組合研究會。去十九日午前九時。開於郡會議室。出席組合。國姓組合役員。及埔里組合。烏牛欄組合。守能營購買販賣組合役員等。熱心研究。至十二時散會。

一、產業精神[illegible]之件。

二、[illegible]

新店保儀大夫遶境 有遊客四人乘短艇游潭 溺死一名救三名

去二十日。文山郡新店街依年例。迎保儀大夫遶境致祭。本年輪值夏街承辦。北管。南音絃閣。踏藝其他各種。有三十餘組。優秀者。由爐主陳元通氏。授與以優勝旗三面。外演戲數臺。遠近觀衆擁到。爲近年來稀有之盛況。聞有新竹市西門劉錦英。年二十二。外三名。午後三時頃。於新店碧潭、共乘短艇。遊覽中。因不諳操法。舟被流下。過瑠公圳堰堤淺灘。突然傾覆。四人落水流散。會有新店人。周紅英氏者。適在灘下深潭網魚。急操竹筏往救。新竹市北門崙仔七九王有德。年二十二外二名。幸被救起。而獨劉錦英。則不知去向。郡警察課接報。警官及壯丁團員。急赴現場。於下流溪中。大行搜查。俱未得發見其死體云。

嘉北間 傳書鳩競翔會 參加三十隻

本島最初之日本傳書鳩協會主催傳書鳩二百杆競翔會。訂本二十二日舉于嘉義臺北間。參加鳩。臺北瀧鳩會。樂鳩會。約三十隻。二十一日夜行列車。由臺灣軍鳩班佐野軍曹。攜帶參加鳩。赴嘉義市。二十二日午前六時半。在驛前放鳩。而臺北審査所在蓬萊閣前。按午前九時前後飛到。又放鳩地立會者。卽本社嘉義支局長。嘉義驛長。臺北審查卽軍司令部佐伯參謀。臺灣軍鳩班長深堀大尉。本社佐藤氏云。

國講分教所 舉開所式

臺北市大安國語講習所新富町分教所。于去二十日午後八時。舉行開所式。由州千葉教育課。吉田視學。長田社會教育書記。及該地方警察官講師臨席。時由千葉課長訓示後。繼任致師之辭。繼官告詞。九時頃閉式。本分教所。收容人員六十五名云。

花蓮港金鑛 許採二區

昨年來。黃金熱。申請採金者甚多。各冬々許三四件。其他尚未許可。去十七日始許橫山長七。白勢榮吉。山口鉦五郎。金子保次郎。中辻京次郎。今井昌治。饒永昌七氏所出願之花蓮港廳平野加禮宛。北埔堤內六十五萬餘坪。及花蓮港廳研海支廳三棧溪海岸地內六十三萬餘坪云。

蘭陽米穀講 竝米商協總會

臺北州米穀同業組合宜蘭支部。去十九日午前九時半起。在宜蘭街公會堂。開臺灣米檢查規則改正說明講演會。來賓有督府齋藤技手。郡宍名勸業主任。檢查官上田技手。檢查員西村氏。永淵氏。頭圍農業倉庫吳主事。同信用組合林專務。各蓬萊店員。蘭陽三郡下米穀商關係者約七十餘名。開會同時。由上甲技手。說明米穀檢查改正規則內容。約四時間而後有來賓齋藤技手。訓示數分間。至二時閉會。另在該堂。繼開蘭陽米穀商協會總會。出席者會員四十名。缺席十名。外來賓三十餘名。先由林澤火氏。開會敍禮。次由梁長樞協會長。就議長席。審議事項如下。一、報告昭和九年度事業狀況之件。二、昭和九年度收支決算之件。三、第一期蓬萊籾取引之件。四、第一期在來籾取引之件。各無異議可決。次入役員改選。各分投票用紙。投票發表結果。正會長梁長樞氏(重任)。副會長黃來富氏。嚴繼榮氏。(各重任)。評議員邱呂新傑。(重任)林順金(重任)。邱佳重(重任)吳士芳(新任)江朝開(重任)。游其爐(重任)陳坪枝。石柱。林榮燦(重任)。吳石獅(重任)。謝阿北(新任)。最後開懇親宴。席間由臺灣藝妓花般勸佑酒。賓主盡歡。至七時半和氣藹々散會。

大甲郡震災犧牲者 舉盛大慰靈祭 有日下州知事其他參列

大甲郡下震災犧牲者四百七名。去二十日午後二時半。舉慰靈祭于清水街清水公學校講堂。祭壇中。陳列州知事。及各方面。所寄贈之花環。弔旗等。會衆達數千餘名。及日下知事。臺中州會議員。坂本素魯哉。台根原市尹。林獻堂。楊肇嘉。林烈堂。陳炘諸氏。暨婦人會員。有志百餘名列席。僧侶讀經後。滿富委員長讀祭文。日下知事。坂本。楊肇嘉。林烈堂。諸氏弔辭。次披露松岡中將。宮ノ南郡守。河村木社各社長。林獻堂氏弔電。各拈香散去云。

頭圍追悼教員

宜蘭郡頭圍公學校。去二十日午後一時半。爲多賀氏竝物故舊職員。卒業生開追悼會。多賀氏於明治三十一年五月二十日。爲頭圍庄國語講習所教員。於赴任途中。被土匪所殺。同日恰逢多賀氏忌辰云。

琉球庄漁船 船員漂流 得美船救助

月二十日。馬尼拉帝國總領事館。拍電于高雄州。謂距高雄△百五十浬海上。捞漁中之高雄州東港郡琉球庄琉球三百八十七番地林天萬。年三十。外乘組員六名。發動機漁船發海丸。八噸十五馬力。因機關部故障沈沒。乘組員七名。皆漂流海上。被通行附近之美國汽船發見。全部救起。十八日入馬尼拉領事館。保護中云。

嘉義曲師藝妓聯合 主開臺中新竹兩州下 震災義捐募金藝妲戲

震災地租稅減免 經得勅裁公布實施 申請書要截被害狀況

關於震災地之州市街庄地方稅減免。依府令第二十六條。于四月二十八日公布實施。而就國稅減免。必要律令改正。其後與中央折衝。十八日經得勅裁。乃于二十一日公布實施。其沐恩典之地域。新竹州下新竹郡(舊港新埔關西六家香山五庄)中壢街、大溪、龍潭庄、竹東。竹南。苗栗。大湖四郡一帶。臺中州下大屯郡(霧峰大里庄)。豐原。東勢。大甲郡一帶。彰化郡(限線西和美線西花壇秀水五庄)。其減免程度。予實況調查後決定。大體于建物毀壞地自昭和十年二箇年以內。其他土地。四年以內地租減免。其受適用之罹災者土地每一筆。記載被害狀況之申請書。至本年六月三十日。須提出所轄稅務官署。詳細記載于二十一日府報。

海軍記念日 新竹行事

新竹市。來二十七日々俄戰役三十周年海軍記念日行事如左。

一、慰靈祭 午後三時。在公會堂。

一、講演會 午後七時。在公會堂。

一、祝賀會 午前十一時。在公會堂。

蔡章麟氏入司法省 本年登庸者僅氏一名

臺北市萬華蔡彬淮氏之令長郎蔡章麟君。昭和七年畢業東大獨法。是歲卽合格行政科。其後更合格司法科。本年本島人中有資格者。爭志願入司法省或欲歸臺灣。然登庸者。僅君一名。蓋以君決定卒業時之合格成績優秀。其他條件。亦復具備。其難可知。氏經已接到司法省確定通知。即買棹于十七日返臺。接候令後。乃決定上京赴任之期日云。

相續涉訟 一般欲其圓滿

臺北市下奎府町一丁目二五三三蔡丕氏。前次以宮司念京辯護士爲代理人。對其養父日新町一丁目王國棟氏。提出推定戶主相續人之身分確認之請求。於臺北地方法院。其要部謂國棟於明治三十九年。因妻亡子死。遂養[illegible]。乃以蔡丕爲養子。蔡丕長成後。在家從事新案特許之木屐製造業。家運日隆。王家現有資產約三十二萬圓。後因國棟續娶連某三子。而與蔡丕之愛情遂漸疏。愈來愈甚。於是蔡丕遂不得不別居。昭和六年。蔡丕娶妻。林氏杏菜爲室。而國棟不肯爲之入籍。迨林氏懷胎。曾提出身分確認之訴訟。忽起家庭風波。一昨年冥出推定戶主相續人廢除。今春又提出離戶屆。欲放逐蔡丕。蔡丕不得已。乃提出推定戶主相續人確認之訴訟。定來月二十八日召問。似此家庭風波。影響社會風敎。一般皆望其圓滿解決。其知友正爲之斡旋云。

淡水弒殺養父案 照一審求刑無期 辯護士却主張無罪論

關于淡水謀殺養父案。殺人被告臺北州淡水郡淡水街水吉十九番地張氏伊。年五十八。控訴審公判。去二十日午前十一時半。在高等法院覆審刑事部。由高嶺裁判長係。二反田遠示兩陪席判官。伊藤檢察官關與。穎川辯護士立會之下開廷。事實審理完了。而質地檢證。再調查亦完了。是故入檢察官論告。伊藤檢察官請被告人張氏伊。性格粗暴。貪慾殘忍。因其養父林氏已罔綠夫曾明貴。年八十餘。雙目盲。已等老人。乃以斧々其頭殺害之。宜嚴罰照一審求刑無期懲役。對此。穎川辯護士。以爲曾明貴之死係自以斧々頭自殺。列舉。

一、曾明貴。欲投水自殺。

二、復曾欲圖自縊。

三、學說上。或事實鑑定上。可得自執斧々頭自殺。

四、被告張氏伊。欲防止養父自殺。曾爲奪取菜刀。[illegible]互一時間。綜合有利諸事實。主張無罪論。至午後一時閉廷。判決在來三十一日云。

溺死兩則

彰化市東門二百七十九番地。李春才。年五十。患眼疾不癒。以致盲目。遂萌厭世。去十九日午前八時。跳落自宅附近池中死云。

鹿港街大有口四百三番地吳樹。年二十二。自昨年十一月。往岡山郡楠梓庄橋子頭就職中。去二十日午前一時。溺死附近池中云。

世界座電影 不守時間 興行主被說諭

臺北影片公司。現在斗六世界座興行中。因不守時間。違背演劇規則。該公司代表者鄭乙生。去十七日。被郡警察課保安係召喚。嚴加說諭。聞自開映以來。觀客無幾。已陷于不能維持云。

泗濃號控訴公判 裁判長認要急速續行 拒絕辯護士申請

怪輪泗濃號事件。續行第二回控訴審。二十日午後一時五十五分再開。波多野裁判長。關于午前中辯護人一邊之異議申請。却下之。協議結果。認要急速。續欲於該法院審理。又對被告答辯。更由裁判長。質以不欲受本法院裁判乎。被告答以希望管轄移轉。至是。第二回公判並無何等事實審理。不過爲裁判手續上形式論。午後二時閉廷。依此。高等法院。若容被告前記請求。其非實審理。當然移于高等法院云。

基隆

龍舟競渡

本月二十七日。爲海軍記念日基隆市諸行事。如所發表。於前一日。卽二十六日(日曜日)午後二時起。將於大沙灣海水浴場海中。有本島人龍舟競渡比賽。八斗子。濱町。各出龍舟一隻。三組出賽競渡。對於比賽品。金裕發號茂森氏。寄附西市七十二號。江若隆洋品店江增樟氏。寄附上等幼扇十五支。爲優勝者。更有市尹賞。又當日豫想往觀者甚衆。若輩繞在海中觀覽者。每人欲購望海軍旗一支。此海軍旗由送元應行。寄附一千支。許於當日由當局分配與海中觀覽客。現由基港氣象家云。

兩評議會

基隆公益社。去二十日。午後三時。假當社樓上。開評議員會。附議決算及豫算案。及其他等件。皆照原案可決。又基隆俱樂部。亦於當日午後四時。假公益社樓上。開評議員會。決議決算豫算等。議畢於公會堂。開模擬店晚餐懇親會。至六時餘。各盡歡而散。

猿犬演藝

基隆市社會事業助成會。及基隆市愛護會。爲讚成事業資金共。後援中野興行部。猿犬演藝之興行。擇自去二十日起。假基隆座前空地開演。入場料大人二十錢。小人十錢。但由方面委員之手發賣者。大人十五錢。小人八錢。希望市民多數往觀。聞其演藝。對小兒教育有益云。

鹿港

開慰靈會

鹿港街當局主催之震災遭難者慰靈祭。去十九日午後三時起假公會堂。得臺頭莊氏其他多數官民參加。以莊嚴之佛式舉行。法事後。有吉田街長之弔辭。臺頭莊氏等之祐言。三時半閉式。

卓球比賽

鹿港街信用組合團。去十九日午前九時起。在一公講堂與街役場團。行卓球比賽。得點。以三對四。組合團優勝。午後二時。再行庭球比賽。以一對二。仍爲組合團勝利。

會事

▲專賣局宜蘭出張所煙草賣捌人組合會。訂本月二十二日午前十時。假專賣局宜蘭出張所樓上會議室開會。

▲基隆市港町公學校。訂來二十三日。午後二時起。假當校開父兄會。協議諸要事項。

人事

▲計丙。盛錠村二氏。十四日抵京城。二十日抵滿洲國首都新京。

▲埔里街人陳文賀氏。此回與同街人黃火爐氏之女信蘭締婚。去十八日迎娶。並宴客於會館。

▲臺中吳子瑜氏。去十九日。由內地歸臺。寄在高雄。二十日歸中。

▲鹿港街端午會員謝春森氏。去十八日。由前稱興庄長謝邦治氏執柯。與同街人郭氏蕊蘭結婚。男曾肄業於臺中師範。現營農場於南洋爪哇。女則卒業彰化高女。聞來六月六日。特双双買棹赴任云。

▲彰化郡芬園庄長一鹿。去十九日。由郡當局。拔擢線西庄助役折翹識氏。氏任該庄助役已閱八年云。

▲新營郡鹽水街南竹子腳營所驚澤巡查。此回由竹營部補執柯。與臺南市時賓堂時計店鐵氏之長女美サヨ締婚。十九日在嘉義神社。舉行結婚式。六時在新營公會堂。日本間。開披露宴。又翌二十日在南竹子腳開祝宴云。

▲板橋林本源氏之母楊太孺人去二十日在板橋自宅逝世。享壽六十有七。現停柩在室。

▲淡水許人陳其六氏之殯儀。訂五月二十四日上午七時。在其自宅執行。葬在西勢寮山麓云。

商況(廿一日)

米況

正米市況前場

▲二期蓬萊米 當限 不中
▲一期蓬萊米 當限 中 九、三三 中限 不中
先限(七月五日限新相) 九、二三

大阪期米前場

節	當	中	先
一	二九五九	二九六六	二九六一
二	二九五三	二九七一	二九五七
三	二九四九	二九六九	二九五四
四	二九四八	二九六四	二九五三
五	二九四六	二九六〇	二九五二
六	二九四六	二九六二	二九五五
七	二九四六	二九六二	二九五八
八	二九四七	二九六三	二九五九
九	二九四七	二九六三	二九五八
十	二九四四	二九六二	二九五六

東京期米前場

	當	中	先
寄	二九三六	二九五四	二九四九
高	二九三六	二九五六	二九五〇
引	二九三六	二九五三	二九四九
安	二九三六	二九五三	二九四九

神戸期米前場

	當	中	先
寄	二八一九	二八三九	二八五〇
高	二八二二	二八三九	二八四六
引	二八二二	二八三六	二八五〇
安	二八一九	二八三六	二八四一

株式

大阪短期前場

銘柄	寄	引
鐘紡	四八、二〇	四八、一〇
日魯	七九、三〇	七九、三〇
日立	一〇二、七〇	一〇二、四〇
日産	九一、〇〇	九一、二〇
日發	一〇三、四〇	一〇三、五〇
[illegible]	一三一、一〇	一三一、一〇
倉紡	一三六、二〇	一三六、二〇
帝人	一二〇、三〇	一二〇、三〇
東新	一〇三、三〇	一〇三、三〇
[illegible]	一一四、七〇	一一四、七〇
[illegible]	七一、二〇	七一、二〇
[illegible]	一二〇、三〇	一二〇、三〇
[illegible]	九七、二〇	九七、二〇
[illegible]	一〇七、〇〇	一〇七、〇〇
大新	一一二、〇〇	一一二、〇〇
大株	[illegible]	[illegible]

大阪長期前場

銘柄	寄	引
大株	九三、三〇	九三、三〇
同新	九〇、七〇	九〇、六〇
東新	一四二、〇〇	一四二、〇〇
鐘紡	一二八、八〇	一二九、三〇
同新	一二三、一〇	一二三、一〇
日糖新	五七、七〇	五七、八〇
[illegible]	一	一
[illegible]	四七、二〇	四七、三〇
同新	一三、〇〇	一三、〇〇
郵船	五一、七〇	五一、七〇
同新	一	一六、二〇
日産	六二、三〇	六二、四〇
同新	二九、五〇	二九、四〇
日鑛	七八、五〇	七八、五〇
帝人	一一七、八〇	一一七、八〇
同新	一三六、二〇	一三五、九〇
日レ	七〇、九〇	七一、二〇
同新	七五、〇〇	七五、一〇
[illegible]	一三四、五〇	一三三、九〇
同新	一〇九、一〇	一〇〇、八〇
東レ新	七二、五〇	七二、三〇
日石	四一、八〇	四一、八〇
同新	一五、〇〇	一五、〇〇
宇治電	四三、三〇	一

東京銀行實株

銘柄	値	銘柄	値
日銀	五〇六、〇〇	同新	三三三、〇〇
正金	二〇三、五〇		
鮮銀	七八、〇〇	同新	一八、七〇
臺銀	七六、〇〇	同新	五三、〇〇
勸銀	九〇、一〇	同新	三三、〇〇

紐育株式

スチール株 三四弗二分一
アナコンダ株 一六弗八分五

公債

東京國債

銘柄	寄	引
甲號五分利	一〇三、八五	一〇三、八五
特別五分利	一〇〇、五〇	一
第一五分利	一	一
第三五分利	一〇三、八〇	一〇三、五〇
第一四分利	九八、六〇	一
第二四分利	一	九八、七〇
二八年五分利	一	一〇三、七五
佛貨四分利	一八五、五〇	一八五、五〇
米貨六分利	三九〇、三〇	三九〇、一〇
同五分利	三五四、五〇	三五四、二〇

爲替

外國爲替相場

米日爲替 二八弗九一仙
米英クロス 四弗九一仙二分一
英日爲替 一志〇二片八分一

神戸對外爲替

對米期近 (二八弗一六分一 二八弗一六分一五)賣
先物 (二八弗四分三 二八弗八分七)賣
對英期近 (一志〇二片一六分一 一志〇二片八分一)賣
先物 (一志〇二片三二分一 一志〇二片三二分三)賣

穀肥

シカゴ小麥

五月限 八九仙二分一
七月限 九〇仙八分七
九月限 九一仙八分七

神戸豆粕

▲前場 一節 五限 四、四〇

砂糖

玖馬

實糖 二仙三五

爪哇

直物 五盾九二仙二分一
五月積 五盾九二仙二分一
六月積 五盾九二仙二分一
七月積 五盾九二仙二分一
八月積 五盾九二仙二分一

大阪現物

三品(OBB) 一五〇四五錢
分蜜(M3) 一五四九〇錢
精糖(壓) 二〇四九五錢
同(?) 二一四一〇錢
同(日) 二一四〇五錢
新潟白布(A双)二〇四七五錢

大阪淸算

▲前場 寄
八限 一一七〇 九限 一一八〇
十限 一一九〇
八限 一一六九 九限 一一七七
十限 一一七〇

銀塊

倫敦現物 三四片一六分一三
同先物 三五片
紐育現物 七七大仙

絲況

米 八錢安
印 一〇錢安

大阪綿絲

▲前場 寄 引
三月限 二一四、四〇 二一三、〇〇
十一月限 二一二、四〇 二一二、六〇

大阪棉花

▲前場 寄 引
三月限 六三、三〇 六三、三〇

大阪人絹

▲前場 寄 引
三月限 三八、三〇 三八、一〇

橫濱生絲

▲前場 寄
十月限 大一三、〇〇

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

婦女界 六月号 結婚後日物語号

若き未亡人のための身の上相談会
醫學博士 石原修　三輪田高女校長 三輪田元道　文化學院教授 河崎なつ

離婚を決心せんとする人々へ
(一寸お待ち下さい これだけの努力がすんでゐますか？) 石井満

若き未亡人なるが故の悩み (涙話三篇)
(1)再婚説を斥けて只母として生きる
(2)第二の鍵を求めて喘ぐ私
(3)因襲に囚はれた村人の監視の中で

親に背いて結婚した私達の其後
(1)故郷を捨てて勘當の身で貧苦と戰ひ戀を守った私達
(2)幾度か死を決しながら五ヶ年間の戀を完成させる迄

再婚した近衛公令弟夫人

常陸丸の須知中佐未亡人を訪ねて

働く知名夫人の生活日記

一萬圓ギャング事件遭難記

新家庭の其後
駒井ますのさんの新家庭風景
絶對に夫を信頼する千葉夫人

夫の留守をどう守る

花柳壽美 木谷千種 東西佳人顔合せ座談會

蕃地の母に勧れて私は歌ふ
佐塚佐和子

林長二郎を夫に持って
長谷川卓子

裸一貫の夫を財界の巨頭にした森矗昶夫人

虚弱兒を丈夫にした母の意

冷水浴と日光浴で寒中パンツ一枚の健康體に…自然療法で抵抗力を高め生れ變った様な健康兒に 林善雄

抱かず負はず思ひの儘に我子を育てゝ

長篇小説 母の像 横山美智子
長篇小説 結婚裁斷 諏訪三郎
時代小説 霧の白菊
長篇小説 白蛾の舞 中村武羅夫
善太漂流記 嚴窟王物語

誌上料理講習 西洋料理の巻
美容リレー訪問 美しい奥様に秘訣を訊く

初夏の診療室
★内科的疾患 ★皮膚病 ★出歯一週間矯正法
梅雨時の注意 ★食品と榮養 ★衣服家具の防黴と雨具の手入

婦女界ゆかた 全五十柄 一齊發賣

本號五拾錢 婦女界社

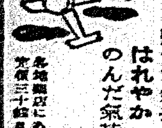
歯痛と頭痛に のんできく 神經痛、ロイマチスに

廣告は宣傳の近道なり

乳兒の哺育に・兒童の保健に・姙産婦の榮養に

明治メリーミルク

明治製菓株式會社



飛行機に乗った氣持 はれやかなのんだ氣持

婦人公論 6月号

日本一發賣 誌面一新「完全な女性」號

溌剌たる清新の内容。充實した底力のある雑誌六月號 婦人公論を―初夏の清々しき朝、先づもとめたまへ!! 書店へ!!

連載小説欄
現代小説 盛装 横光利一
現代小説 青空士官 吉川英治
家庭小説 虹の花 野上彌生子
現代小説 金の鍵の匣 里見弴
現代小説 野麥の唄 林芙美子
現代小説 祖國の娘 倉田百三
時代小説 露を厭ふ女 白井喬二

特輯 女性幸福讀本
學問的見地から 生理 精神 美容
原著(米國)サラ・トレントン女史 校閲 醫學博士 竹内茂代女史

女性よ、幸福はかくて貴女のものである!!

▽人生の黄金時代
▽中年の體的變化
▽肉體の婦人の用意
▽妻の場合
▽母の場合
▽獨身婦人・未亡人の場合
▽完全な美を目ざして
▽素晴しき人生

完全なる女性
帯刀貞代

母に語る今の娘心
平塚らいてう

製絲女工から女學校長へ (嘉悦孝子女史出世物語)

★私の履歴書 (スター女優の答廿五通)

湯淺初子 (蘇翁偶筆) 徳富猪一郎
小町の運命 桑木嚴翼
奈良の女中 安部磯雄

女性禁制百科辭典
れでイす・べからず・えんさいくろぺでイや
第一部 處女べからず帖 博士執筆

夏によい家庭向きの魚料理十種

涼しい外出着の作り方七種
誰にも出來る・スタイルがよい・さあ洋裝を!!

崔承喜自敍傳

家庭奮議會設置の要 (僕の頁) 嶋中社長
惜春抄 (詩) 大木惇夫
藝術深園 わが工房 久保田万太郎
春晝 (随筆) 野上彌生子
經濟講話 小汀利得
國際情報 清澤洌
今日の政局 御手洗辰雄

蕃地の母へ
(霧社事件に父を奪はれし娘の手記) 佐塚佐和子

羅災女教員の手記 台灣大震災に直面して
愛讀者の特報

眞相と批判 少年血盟團事件と家庭

法律の解説 法廷の實話 内縁の妻
辯護士 津島純平

女性の悩みは女性の手で!! 讀者にする身の上相談
課題募集 解答 醫學博士 吉原りゅう子

私の歩いた結婚觀
高田保 北村小松 細田源吉 竹田敏彦 サトウハチロー

ロマンス急行列車 (興味特輯)
第一輛車 職業婦人ローマンス
第二輛車 女學生ローマンス
第三輛車 中年婦人ローマンス
第四輛車 スポーツ・ローマンス
第五輛車 ユーモア・ローマンス

婦人公論リズム浴衣
三百反贈呈の新懸賞

定價五十錢

『白痴』から子を救ふ
愛の手記

支那大使館の昇格と其意義
對支自主外交の第一步

一

帝國政府は最近に於ける日支國交好轉の機運に乘じて駐支大使館昇格を實現する事となり、大正十三年に決定せられた日支間の大公使交換の件は茲に目出度く實行に移された。之は滿洲事變以來の兩國國の變則的關係から正常な國際關係促進への積極的工作の具體的表現である。而してそれは又對支自主外交への第一步であり、既に大使館を置くソ聯、伊太利は別として英、米、佛、獨の四列國が直に我に追隨し完全に帝國は彼等をリードした事は最近に於ける我外交界に於ける快事と稱せられるところである。

二

公使館を大使館に昇格といふ事は一見形式的の事に過ぎない。しかし形式的取扱ひに於ても一步を進めた事は外交上に於て意義深い事である。消極的に大使交換はグレート・パワーの間に於て行はれ大戰前までは一等國の特權視せられたのである。國家の間に等級を設けた結果として大使館、公使館の別を生じたのであるが、今日に於ては斯くの如き大公使の差別は止論が生じてゐる程で昔日にかけると大分趣を異にしてゐる。從つて大使と公使との實質的價値には何等の差異は存在しないけれども前述の如き沿革に徵すれば大使館昇格は猶相互の大國としての面目を尊重する一の表現である。殊に東洋に於て本質的に協同相提携すべき密接な關係にある日支兩國としては大使交換は蓋し當然の事理である。唯其の方針が早くも大正十三年に決せられたにも拘らず今日迄延引せるは排日、抗日の不信行動に因る。

三

所謂自主外交をかなぐり捨てゝ自主外交邁進は滿洲事變を契機とする帝國外交の大方針である。年回列國をリードしたる對支大使館交換は其の一の表現である。對支外交に於て自主外交の意義特に深きを覺えるのである。從來の歐米諸國多數と大使を交換しつゝ隣國の支那とは公使を交換するといふのは一見奇觀である。更に東洋から遠隔の地にある英米等の諸國と異り日本は對支關係に於て特別の利害關係を有するのであつて、今後對支外交に就いては日本が英米其の他をリードすべきは當然である。今後之を機として自動的立場に於て政治的、經濟的援助に因り東亞の大國としての獨立の實をあげしめ、其の面目を保持せしめるときは不純なる歐米の勢力を阻止し、東洋は東洋の國家、民族を以て其の平和を保持し其の發展に資すべき事が期待し得らるゝのである。

四

併し乍ら大使館昇格は畢竟形式的の事に過ぎない。之を實質的なものへ進展せしむるにあらざればそれは寧ろ無意義に近い。而してそれが實現せらるゝや否やは先づ以て支那の誠意如何に因る。之なくしては大使館昇格は全く發展性なき形式的慶事に留まる。第六十七議會に於ける廣田外相の日支提携論調以來、支那の態度は漸く好轉するかの如き觀があるも、汪兆銘、蔣介石の要人の聲明、國民政府要人の宋哲元令の發布、國民政府要人の宋哲元……等々が其の具體的事例である。しかしながら其の實行に於て必ずしも全幅の信用を措くに足るには餘りに未だ前途遼遠の感である。唯親日氣分が漸く加はり、支那國內に於ての此の點の氣兼ねが漸く取除かれんとするに過ぎない。所謂國恥地圖を南京政府內政府で改訂を命じた事實あり、或は所謂灰色の排日あり、排日の具體化に就いてはその速かな解決を容易に期待し得ないものの如くである。

五

要するに問題は支那の誠意如何に存する。日支兩國は申すまでもなく本質的に相協同すべき關係にあり、此の點に於ける明確な認識如何が日支關係正常化を左右するのである。帝國朝野の關係を有する日支兩國の提携は必然的に運命づけられてゐるのである。支那が斯くして大國としての面目を保持し東亞に於ける重大なる地位を自認する事は歐米勢力の跳梁を抑制し以て自らの安泰と發展と東亞の平和を確保する所以である。一定飛びの親善關係への發展を望むならば我が差し伸べる溫い手を握りたる國際關係促進の本質的協同關係が以て日支兩國の本質的協同關係が如實に顯現される日の近きを要望せねばならない。

皇帝陛下親臨の下に 張內閣特任式擧行
二十一日午後五時宮內府で

【新京二十一日發】滿洲國新國務總理張景惠氏は後繼內閣の組織を完了し二十一日午後宮內府に參內、皇帝陛下に拜謁を仰付られ恭しく新閣僚名簿を捧呈した、依つて皇帝陛下には午後五時宮內府勤民樓に親臨遊ばされ左の如く特任式を擧行夫々官記を授與された、但し于芷山、呂榮寰、李紹庚各大臣は何れも前任地にあり任式には參加しなかつた

任國務總理大臣	陸軍上將勳一位	張景惠
任民政部大臣	勳二位	呂榮寰
任外交部大臣	勳一位	張燕卿
任軍政部大臣	陸軍上將勳一位	于芷山
任財政部大臣	勳二位	孫其昌
任實業部大臣	勳一位	丁鑑修
任交通部大臣		李紹庚
任文教部大臣		阮振鐸
司法部大臣		馮涵清
蒙政部大臣		齊默特色木丕勒

尙左の發表に擇下された

國務總理大臣兼文教部大臣 鄭孝胥
民政部大臣 臧式毅
外交部大臣 謝介石
參議府議長兼市政部大臣 張景惠
財政部大臣 熙洽

鄭孝胥氏に前官の禮遇

【新京二十一日發】前國務總理大臣鄭孝胥氏に對しては特に前官の禮遇を賜ふ旨二十一日御沙汰があつた

參議府議長特任式擧行

【新京二十一日發】參議府議長の更迭は左の如く決定閣員と同時に二十一日午後五時その特任式が擧行された

任參議府議長 勳一位 臧式毅

蒙政部大臣は留任

【新京二十一日發】蒙政部大臣は留任と決定した

任參議 前興安總省長 沈瑞麟

新京市長の更迭發令

【新京廿一日發】其後の異動如左

前新京市長 金璧東
任濱江省長兼哈爾賓市長
新京市長 關偉紋
任新京市長

前東省大臣 張燕卿
交通部大臣 丁鑑修

軍部大臣、强硬に主張
急速なる「機關說」處置を
廿一日の閣議席上で

【東京二十一日發】林、大角兩相は機關說問題に關し二十一日の定例閣議席上政府の善後處置に就て憲法學說問題に對する政府の處置は內務、文部兩省の行政的處置をもつて打切りとするやの報道が傳へられてゐるが、本問題は極めて重要なるをもつて陸海軍兩當局としてはこのまゝ放置することは極めて不滿に思ふ、特に美濃部博士系統の大學講座に對する文部當局の措置及び同系統の出版物に對する內務當局の處分に就ては未だ充分ならざるものがあるから、政府としては引續いて國體明徵を期する上において充分努力されたい旨を强硬に主張し、更に憲法學說國定問題に對する陸海軍當局の要望を示し首相の考慮を求めた、之に對し岡田首相は政府の本問題に對する處置が打切られたるかに傳へられてゐるは全く誤解である、政府としては國體明徵を期するため何處までも取調ぶべきものは取調べ、取締るべきものは取締る方針で進む意向である、政府の態度は何等變更されて居らぬ旨答へ、內務、文部、司法各當局も速かなる處置に關し要望するところあり、次で後藤內相、小原法相よりも同樣の方針を以て臨む旨答へ、之に對し林、大角兩相より重ねて之が具體的方法等に付き充分研究の上速かに適當の措置を採られたい旨要望した、閣議は右田文相の說明のため特に具體的に就ては決定しなかつたが、國體明徵を期するため政府全體として速かに善處すべき旨を申合せ、之が根本方針を決定した

四長老が居殘り協議
機關說問題に付き

【東京二十一日發】軍部兩相の强硬なる發言に依り憲法學說問題再燃し、二十一日閣議に於て岡田首相より各閣僚に對し今後の善處方に就て政府の方針を協議するとともに小原法相、後藤內相等よりも種々意見開陳あり閣議散會後岡田首相を始め林、大角兩相及び後藤內相の四長老が居殘りを求め協議を行つたが、右田文相欠席のため特に具體的方針を決定するに至らず、改めて協議することとなつた、政府は事態を重視し閣議散會後岡田首相は高橋藏相、町田、床次兩長老の參集を求め重ねて協議を續けたが、機關說善處に關しては結局撤回方針を決定するに至らず國體明徵に關してなほ研究を進めることとなつた

寫眞（右から）張景惠、呂榮寰、張燕卿、于芷山、孫其昌、丁鑑修、李紹庚、阮振鐸、馮涵清、齊默特色木丕勒

震災復興 豫算は六百萬圓
外に低資要求一千萬圓
本年度分は豫備金を 責任支出…中島主計課長談

臺中州震災復興に關する打合せのため來臺中の中島主計課長は語る

震災復興豫算は總額約六百萬圓、その外に低資要求約一千萬圓の豫定で、本年度分は豫備金から支出することとなる……

滿洲國の發達に對し軍の援助如何を見たい
渡滿の林陸相車中談

【東京二十一日發】林陸相は二十一日午後東京驛發車にて渡滿の途に就いた

【小田原二十一日發】林陸相車中談 滿洲國の發達が一段と顯著なる今日、國防上の重大問題であるが國防の一部に過ぎぬから僕が滿洲を視察した結果が國防豫算の上に大影響を及ぼすことはあるまい、滿洲に行つて見たり聞いたりしたいことは澤山あるが、就中最も注意したいことは滿洲國の健全な發達に對して軍の援助がどういふ風に行つてゐるのか今までの對滿國策に遺憾の點が無かつたかどうかといふ問題で、これがためには關東軍の動きや配置の狀況、匪賊の情勢や滿洲國の動きなどをよく見たいと思ふ、尙し陸軍關係のことは詳しくは國軍にお任せしたが、吾々は何等かの形で……

責任上申譯はない
各方面の消火警備には感謝
平塚長官が語る

（寫眞は長官公室に於て長官以下督府首腦部）

全く皆の努力によるものと感謝に堪へぬところである、責任上眞に申譯ないがこの際皮切なる努力を拂つて貰つたことは感謝に堪へない、四郡の一部を燒失したことは眞に遺憾なことで……

定例閣議

【東京二十一日發】二十一日の定例閣議は午前十時二十分より首相官邸に開會、岡田首相以下各閣僚出席、首相、林陸相、海相より首相の外遊報告に關し陸相、海相よりの懇談に就て三十時より協議し、更に林陸相、內田滿鐵總裁等より各般の政策に關し打合せを爲し午前十一時四十五分散會

佛外相が廿二日ゼネバへ

【パリ二十一日發電通】フランス外相ラヴアール氏は廿日午前モスクワ、ワルソー訪問旅行より歸巴した、ラヴアール外相は廿一日の閣議において今回のモスクワ、ワルソー會談に關する報告をなしたる後二十二日午後ゼネバへ向け出發の豫定である

山本（条）氏を鈴木總裁訪問

【東京二十一日發】鈴木政友會總裁は二十一日午前十一時十五分山本悌二郎氏を訪問……政友會の對策に就き懇談し同五十分辭去した

高等警察課長會議第二日

高等警察課長會議第二日は昨日午前九時より警務局長室に於て開會……

臺北ロータリー週例午餐會

臺北ロータリー俱樂部は二十一日正午より鐵道ホテルにて例會を開いた……

人事

▲永井清次氏（日糖取締役）二十一日來北（吾妻）
▲森永商店（日糖支社工務課長）二十一日來北（吾妻）
▲横山長七氏 廿一日來北（鐵道ホテル）
▲堀通一氏（神戶海陸製酪會社重役）蓬萊丸にて來臺（日の丸館）
▲外山省吾氏（高雄酒精專務）二十一日來北（日の丸館）
▲石橋省吾氏 臺南法院檢察官二十一日來北（朝陽號）
▲牛尾竹之助氏（高雄銀行計算課長）倫敦より內地を經て二十日着任（朝陽號）
▲石垣警務局長 二十一日新竹州警察落成式に臨列の爲新竹へ、二十二日朝歸北
▲岸田勝榮氏（本社記者）台東に出張二十一日より二週間程一ノ三に入院

シナチク

滿洲國の新內閣は、一方武人內閣らしくもあるが他方では結局此の様な新人物を一躍民政部大臣に登用してなかなか面白い味を見せてゐる▲クチナシ子は一昨年頃臺北滿洲國行の際、當時ハルピン市長で未だ四十歲位に見える呂榮寰君にも逢つたが、當時「滿洲にもこんな新人物が隱れてゐるのか」と驚いた程である……

西美蔘豫記公告

臺南製糖株式會社……

臺北市上地建物株式會社……

大阪商船出帆（基隆）

基隆出帆

高雄出帆

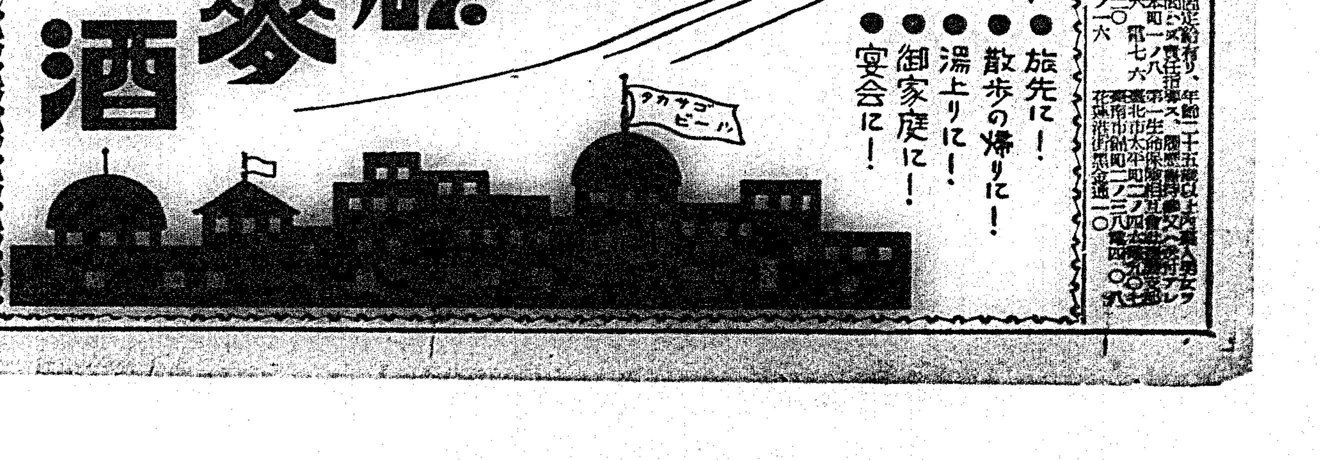
近海郵船出帆 基隆

辰馬汽船出帆

大連汽船出帆 基隆

社員招聘

タカサゴビール 懸賞募集
締切 昭和十年六月五日
發表 昭和十年六月十日本廣告掲載紙上
投稿先 臺北市上埤頭一五四番地 高砂麥酒株式會社



翌日に連日揭載の……
主婦之友社特選
婦人子供服陳列會
（主催 村井商行 後援 主婦之友社）
ナジミの主婦之友社特撰發表の清新優良なる婦人子供服を豐富に取揃へ大陳列會を致します是非そのスタイルを是非その柄行を―御撰擇御買上を願ます
弊店獨自の清新夏物百貨大賣出し
パナマ帽◆東洋パナマ二・二〇ヨリ◆林投三・三〇ヨリ
マーシャル四・〇〇ヨリ◆バーム七・八〇ヨリ◆本パナマ一二・〇〇ヨリ
流行新型石目パナマ一二・〇〇ヨリ◆ヘンプハット三・五〇
一文字◆七〇◆九〇◆一・〇〇◆一・三〇◆一・六〇
婦人帽子供帽いずれも京都の流行型を取揃て居ます
ワイシャツ新製品洗つても縮クズレセヌ（ダツドレ）
（アーリントン）ヌリ紐附ウエスタン）ノータイシャツ各種
◆水泳衣◆水泳帽◆浮袋◆ケープ◆バッグ其他納對豐富
何回洗つても皺にならぬプリントタイ◆サムマタイ新荷著
蝶矢製ノータイシャツ 最上の仕立 最底の値段
大特價 一枚一圓 御一人様一枚限り
村井商行
電話二三一番 二三番 振替二三番

猛運動を續行の 臺中市民ら啞然

新設飛行隊が、嘉義附近 太保庄に、內定ときき

【臺中電話】飛行隊設置場所が臺南州東石郡太保庄に內定を見た如く傳へられ同じ目的に向つて猛運動を續けて來た臺中市側では啞然たる態であるが右の噂が果して軍部當局の眞意なるや否やに就ては疑問を有してゐる、併しながら臺中側の作戰が拙劣であつた事は蔽ふべからざる所で殊に同問題發生以來既に數ケ月を閱しながら未だに何等組織統制ある實行機關の結成を見ず單に一部有志の個々的活動に委ねられてゐるが如きは最も重大なる缺點と見られてゐる二、三が慨歎せる所以も此處にあつたのであるが坂本氏が會長となる實業協會又は商工會の如きは未だに同問題に對する態度を明確にせず市民をして多大の疑惑を感ぜしめるのみならず會長自身も亦之を不滿としてゐるが、其原因は軍當局の眞意を測り兼ねた結果でもあるが同時に協會幹部の煮え切らぬ態度にあるとも云はれ[illegible]さへ傳へられてゐる、從つて實業協會今後の動きは飛行隊問題を繞つて前途を觀る[illegible]されその結果如何は昨年東京[illegible]協會分裂以來安定を得てゐる臺中市民間勢力分野の上に更に波紋を生ずべく政治問題として重大化すべく見られてゐる

飛行隊問題で 緊急理事會開催

臺中實業協會

【臺中電話】別項の如く實業協會では飛行隊設置問題に關し未だ何等態度を明確にせず世人の疑惑をそそつてゐるが來る二十五日理事會にて右問題を一新附議する豫定であつたが飛行問題は目睫の急に迫られてゐるので二十一日午後三時より市內某所にて緊急理事會を開催した

實行團體打合會

【臺中電話】飛行隊誘致運動實行團體組織に就ては屢に實行委員の懇談會の形であるが右に對する市民の要望は相當熾烈なるものあり實行委員會でも其の必要を痛感來る二十四日右に關する打合會を開催する筈である

產業組合研究會

臺中州能高郡主催第一回產業組合研究會は去る十九日午前九時より能高郡會議室に開會埔里、烏牛欄、國姓信用組合役職員並に能高郡[illegible]組合役職員共出席者廿八名あり會長谷田郡守訓示[illegible]課長谷口勸業主任臨席產業組合精神の普及徹底を期する方策研究に關する件外二件に就き研究を爲し正午散會したが次回は埔里信用組合主催にて開催の筈

屏東郡市の 地方制度講習會

【屏東電話】屏東郡市の地方制度改正講習會は總督府から石井地方課長以下矢上、松田、久武各屬臨席二十日午前九時から屏東會館に開催した出席者は郡市街庄長、會員各官衙長等各代表者その他百三十餘名に上り午前中は石井地方課長より改正地方制度の說明午後から矢上屬の逐條解說があつて午後四時頃終了した尙石井地方課長は同日午後[illegible]下淡水溪治水工事[illegible]視察をなした

慰靈祭を放送

【臺中電話】臺中放送局では二十三日午前九時より[illegible]慰靈祭[illegible]放送[illegible]

臺中に便利な 列車運轉實施

二十五日から

臺中市民の便をはかつて鐵道部が考究中であつた第五、第六列車の臺中終點は、いよいよ左の如く決定二十五日より實施することとなり二十三日附鐵道部報に發表される筈である、即ち基隆發午前六時二十分第五列車は竹南止りとなり新に同名の列車が彰化より出發し竹南彰化間は運轉されてゐなかつたものであるが、この列車の彰化以南を依然第五列車とし基隆發竹南止りを臺中まで延ばして第十三列車となし、臺中發午前六時三十四分の第六列車は彰化より發午後零時三十六分の列車を第十四列車として基隆に赴かしむることとなつた

發着時刻は

△第十三列車 基隆發午前六時十九分、臺北發同七時十二分、臺中着午後零時七分

△第十四列車 臺中發午後零時三十六分、臺北發同五時二十五分、基隆着同六時十四分

で第十三列車は臺北臺中間の所要時間四時間五十五分第十四列車は四時間四十三分で普通急行の臺北臺中間四時間四十分臺中臺北間四時間卅分に比して大差なく普通列車の六時間に比較すれば何れも一時間以上のスピードアップである而して兩列車は海岸線に於ては下り月眉公館、上り大甲公館の兩驛を行き合ひ驛をのぞいては全部通過することになつてゐる

落成招宴

豫て新築中の[illegible]氏の住家は先般落成したので五月十八日夜[illegible]街長、其他官民多數を自宅に招し落成宴を張つた

嘉義野球團長と 監督が辭表提出

"鳬は何うつくか"

【嘉義電話】[illegible]

バブヤン島に漁夫四名 哀れ餓死に瀕す

海鼠採取船行方不明のため

【高雄電話】高雄市哨船町四ノ七林[illegible]は比島バブヤン島近海より海鼠を採取すべく漁船[illegible]丸(二〇噸)をチャーターし[illegible]人一名を乘込ませた上漁夫四名の食糧一百餘日分を積込み四月卅日同島に出帆せしめたが同船がバブヤン島に着いた時には波浪高く[illegible]

都市計畫を視察

【屏東電話】松下內務局技師は屏東市の都市計畫、水道事務その他視察の爲め二十一日午後二時十三分着列車で來屏した

露店商人組合 解散に決す

【高雄電話】高雄市[illegible]町の[illegible]露店地が新設府營住宅組合により店舖街を建設さるることとなつて[illegible]

歸着

內地方面に[illegible]

表彰さるる 名譽の團體

來る日露大海戰 三十周年記念日に

【[illegible]二十一日發】來る二十七日の卅周年海軍記念日を期して海軍省では民間功勞者に對して表彰をなす筈であるが、臺灣に於て此の[illegible]

ブ島の坐礁船 近く解體さる

【高雄電話】ブラタス島の[illegible]

よい漁場發見で 珊瑚熱昻まる

【[illegible]二十一日發】珊瑚問題で[illegible]

高雄高女の 楠公偲ぶ會

【高雄電話】[illegible]

二十五萬餘圓の 金の密輸出發覺

彰化署刑事の活動

[illegible]

臺南實業會 第五回月例會

【臺南電話】臺南實業會では第五回月例會を二十日午後六時から[illegible]

嘉義、臺北間 傳書鳩競翔會

【嘉義電話】日本傳書鳩協會嘉義支部[illegible]

濁水溪人道橋 工事多少遲る

【[illegible]】[illegible]

大豐丸歸高 純益一萬餘圓

豐漁に船員意氣揚々

【高雄電話】[illegible]

養魚地を埋立て宅地とする

[illegible]

社會教化打合會

[illegible]

產組事務檢査

[illegible]

所得稅調査委員會

【[illegible]二十一日發】[illegible]

新營郡教育總會

[illegible]

世界座の 不穩映畫を沒收

【[illegible]】[illegible]

豚コレラ發生

[illegible]

小怪盜捕はる

【臺南電話】[illegible]

人妻の家出

[illegible]

二人組の泥棒

【嘉義電話】[illegible]

會事

[illegible]

人事

[illegible]

嘉なかだち

講習生 / 乳母入用 / 店員 / 店員 / 洋裁 / 女中入用 / 下宿屋讓 / 貸家 / 賣貸別莊 / 讓店 / 電話商品券債券 / 電話四五〇番賣る

東洋生命

この低金利時代によき投資物を求められるお方は、先づこの保險を御研究下さい。

◎保險料拂込が短期間で濟み
◎保險料合計額は保險金の約半額から六割內外に當る

例へば廿五歲の方の六十五歲滿期の保險料合計は保險金千圓につき

十年拂済 五二〇・三〇
十五年拂済 五六七・六〇
二十年拂済 六三五・八〇

◎この保險は保險料拂濟後も滿期迄每年配當がつきます

長壽保險の短期拂

(短期拂養老)

臺灣支社 臺北市榮町
本社 東京市丸ノ內

一步進んだ 皮膚病藥

ヒンター

痒い! 痛い! 醜い!
不快な皮膚病に今スグ……ヒンターをお試しあれ!

◎ヒンターの特長

定價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓

發賣元 守田寶丹本舖

防げ惡疫を 備えよ急病に
旅行に家庭に 寶丹の活用を!

消化・殺菌・救急
三大藥効兼備・萬人必備の護身藥

寶丹

東京・大阪 守田治兵衞

天使 (82)

（夜上映）

横光利一

宮田重雄畫

七の一

櫻が散つてしまふと、雨の日がつづき、雨がやむと、風の日がつづいた。槇子は、自分の病人も快復したので、家に歸つた。

雪子は有頭の父から、度々すすめられた日黒の叔母の方へ移る事を、母姉に話したが、どちらも賛成しなかつた。

槇子は雪子が幹雄と結婚することに反對してから、自身、幹雄と結婚したい氣持ちが徐々に起いて來るのであつた。けれども幹雄にその意思があるのかないのか、さつぱり分らなかつた。

彼女は夜眠れぬときは、必ず幹雄の不思議な性格について、考へさせられた。彼女には、幹雄が善人なのか、惡人なのか、それさへも分り難かつた。前には、無用の出來ぬ無然なところが、幹雄にあるので、とうてい自分の良人として、一生を共にするべき人物だと

このごろは、そんなことをしちやいけないんぢやないかと、思ふのよ。明石さんも、あたしにさう云つたわ。」

「何んて、仰言つたの？」

「あなたは自分の意見がないからいけないんだつて。幹雄と結婚したけりや、姉さんの云ふことなんか聞かないで、さつさと自分の意思のままに、動くもんだつて。」

槇子の顔は赧くなつた。彼女は默つてゐたが、雪子もそんなことに氣がつきだした以上は、こちらもこちらで、もう自分の結婚の準備も、考へねばならぬと、一層深く思ふのであつた。

「それぢや、雪子さんは、まだ幹雄さんと、結婚する意思があるの。」

「だつて、幹雄さん、いけないつて、云ふんですもの。」

「それぢや、あたしがもしあの方と結婚したら、雪子さん、どうし

は、思はなかつたが、雪子との間に題が起つてからの幹雄を見てゐると、自分の考へも、間違ひのやうに思はれて來るのだつた。

「雪子さん、あなた、もう一度、明石さんのお宅へ、遊びに上つちや、どうなの。」

とあるとき、槇子は雪子に、すすめてみた。それといふのは、雪子が、幹雄との結婚を、まだ夢みてゐるのではないかと、疑ひが起つてならなかつたからだつた。

「だつて、明石さんは、あたしに怒つてらつしやるんですもの。」

と雪子は云つた。

「さうぢやないわ。明石さんは、自分から云ひ出せない、慎み深い方だから、雪子さんには、そんな風に見えたのよ。きつと。」

「でも姉さんは、あたし、いけないと思ふの。あたしを迷はせるやうな、そんなことばかり云ふんですもの。あたし、結婚なんか、まだだしたくないわ。」

「それや、雪子さんがまだ若いからよ。あたしのやうになれば、もう少し年が寄りすぎて、この人と結婚したいと思ふ人が出來ても、どうしてもこちらが、自分の年を考へるものだから、つひ遠慮してそのまま過してしまふものよ。」

「あたし、姉さんの云ふままになりたいと思つてゐるんだけど、でも

て？」

「あたし、そしたら、一番いいと思ふわ。」

「ほんとうに、さう思つて？」

「ええ。」

と雪子は小聲で頷いた。

ラヂオ

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操　今日のお天氣のお知らせ…臺北觀測所發表

【七・三〇】全國氣象通報（東京）

【八・〇〇】衞生メモ（東京）

【九・三〇】家庭百科問答（臺北）一、百合の栽培について　二、本年九歳の男の子月に一度位高熱を出します　三、嫌に悩まれると腫れる體質の人へ　四、［illegible］に就てお尋ねの方へ

【一〇・一〇】家庭講座［illegible］　女子高等學校［illegible］原田久代（放送）［illegible］の［illegible］もの、新そら豆のクリームの和へ

午後の部

【一一・〇〇】［illegible］　［illegible］　午後の放送番組發表（各局）

【一一・五九】正午の時報　氣象通報

【〇・一〇】放送局編輯ニュース

夜間の部

【〇・二〇】晝間娯樂時間（レコード演奏）歌謠曲　一、流線ぶし（西條八十作詞 細田義勝作曲）市丸　二、流線メロディー（西條八十作詞・細田義勝作曲）久富吉晴　三、島の月夜（藤間みつを作詞・細田義勝作曲）四、消えぬ涙（佐野［illegible］作詞 村越國保作曲）天宮小夜子　五、ほんとにそうよ（久保田宵二作詞・江口夜詩作曲）六、おとこ男は（久保田宵二作詞、佐々紅華作曲）豆千代　七、初燕（久保田宵二作詞・江口夜詩作曲）小梅

【一・四〇】全國氣象通報（東京）

【五・〇〇】子供の時間（大阪）國史物語大楠公三部曲第二「湊水」大阪放送童話研究會

【五・二〇】子供の新聞（東京）劇屋五十二

【五・三五】聞學講座（臺北）初等［illegible］第十九講）上村一仁

【五・五五】カレント・トピックス（東京）

【六・〇〇】子供の時間（臺北）學曲［illegible］（臺北［illegible］）一、チョコレート（宮城道雄作曲）［illegible］檢校、原田信子、木村［illegible］子、伊藤［illegible］、鈴木貞子　二、初ひとりわさ（宮城道雄作曲）唄・八坂良子、秋原令子、川上千惠子、白鳥榮、伊藤鈴木貞子　三、ピロンピョコリン島［illegible］（宮城道雄作曲）［illegible］檢校、原田信子、木村［illegible］子、白鳥榮、伊藤鈴木貞子　四、ひばり（宮城道雄作曲）［illegible］原愛子、伊藤たか子、上野［illegible］子、白鳥榮、八坂良子［illegible］川上千惠子、秋原令子

【六・三〇】講演（東京）楠公記念　大楠公を偲びて　東京帝國大學名譽教授三上參次

【七・〇〇】講演（東京）伊藤正宗　一龍齋貞丈

【七・三〇】琵琶（大阪）楠公記念　大楠公（山下良輝作詞、山元旭錦作曲）山元旭錦

【七・四五】義太夫（大阪）（楠公記念）吉野都女楠（近松門左衞門作）淨瑠璃竹本叶太夫、三味線鶴澤友造　御前奏議の段、櫻井訣別の段、正行討死の段（六世鶴澤廣助、六世鶴澤友次郎作曲）

【八・三〇】時報　東京）

【八・三二】筑前琵琶（臺北）（臺北筝中）四條畷・内野旭香

【八・五五】和洋合奏（臺北）（臺北筝中）長唄、楠公（藤本虎彦作詞、杵屋六左衞門作曲）臺北和洋合奏團

【九・三二】清元（臺南のみ）春夜［illegible］子指 名寄上淨瑠璃［illegible］三味線清元延［illegible］

【九・〇〇】長唄と筑奏［illegible］（臺南のみ）長唄 都島 東京［illegible］、三味線［illegible］、同［illegible］

【九・二〇】氣象通報　臺北測候所發表、放送局編輯ニュース、新聞社提供ニュース（各局）公示事項（各局）明日のプログラム發表（各局）

最近著の雜誌

▲近代人（六月號）▲愛鶯（五月號）▲みづがき（五月號）▲臺灣水產雜誌（五月號）▲海（五月號）▲臺灣經濟（五月號）▲經濟月報（五月號）▲氣象觀測（六月號）▲敎化運動（第百號）

兩州強震罹災者救援義金領收報告

（第三十一回）

金貳圓五拾錢也　新莊　［illegible］

金貳圓貳拾錢也　［illegible］

金五拾錢也　［illegible］

金參圓貳拾參錢也　竹子湖［illegible］

［illegible］

（以下續く）

頭が朦朧不眠に惱み

快ろよい安眠が出來るまで

福島縣　岡本司郎

私は酒煙が好きで本さへ見れば夢中になつて讀むのでありましたが、餘り無理に頭を使つた爲か此頃では、少し讀書すると眠り［illegible］出たり欠伸が出て頭がボンヤリして何を讀んだか判らなくなり、それが病氣になり根氣なく、夜分は床に就いてから一時間も二時間も寢就かれず、苦しみ悩んで居りましたところ、知人に養命酒が頭にも良いからと薦められ早速試したと

ころ、早速買求め飯後少しづつ飲んで居りますと、身体が何處となく引締つて元氣づき、夜分は寢床に入いると何時となしに快ろよい安眠に陥り、グツスリ熟睡が出來ますので、氣分は迚も爽やかとなり、頭の疲れも實に忘れて居ります。そして養命酒は副作用のなき所が何よりよいと思ひます。（十年一月四日受付寄稿は御本人姓名は仮名）

脳に故障あると出世の妨げ

頭を使ひ過た人は

腦に榮養を補ひ

衰弱朦朧の頭を明快に

潑剌たる元氣で優勝へ

冬は身體が引締り氣力も緊張して居るが、春先になると、段々骨節も筋肉も弛んでダルクなり、頭もボンヤリして居眠が出たり欠伸が出たりするが、是は腦髓の榮養不足から來る衰弱であることは、案知らず頭が變になつて家出したり人騒がせをする脱線者が春先に一番多いのでも判る。

殊に讀書や劇務で頭を酷く使ひ過ぎた人は腦細胞が消耗され腦が疲弊して居るから、等閑にして居ると、腦神經衰弱になり、安分安眠できなかつたり、食事が進まなかつたりして、衰弱が益々ヒドクなり、學生は折角試驗にパスしても、後の修學が緩かなくなる。

誰も春先は頭の工合に氣を付けて、少しでも衰弱の兆候があると思つたら、早く腦髓に榮養を補ふことが何より肝要であるが、近頃頭を酷く使ひ過ぎた方々が、貴重なる滋養強壯劑の養命酒を朝晩少しづゝ愛飲してゐると**頭**の工合が迚もよく氣分が朗となり、夜分も快よく安眠ができて腦力を增進し精根が強くなると云はれ、實驗者は眞實に感心して口々に是は大變よいものだと評判して有名であるから、誰人も進んで御實驗になるがよい。

無代進呈

意外［illegible］の自家製［illegible］もうまいです。［illegible］に一般實驗［illegible］を添へて［illegible］無代で贈呈中ですから、東京市［illegible］［illegible］へ宛てハガキを御出しあれ

養命酒服用者として

◆強腦強精の目的
◆神經衰弱の人
◆不眠・息切れの人
◆胃腸衰弱の人
◆呼吸器羸弱の人
◆疲勞倦怠の人
◆貧血冷込みの人
◆根氣薄弱の人
◆虚弱體質の人
◆産前産後の婦人
◆病後恢復期［illegible］

信州伊那の谷名産　製法日米專賣特許

臺灣家傳　養命酒

◎全島の專賣局酒指定商店にあり

御注意　［illegible］

發賣元　臺灣總督府專賣局

發賣元　養命酒本舖天龍館

出張所　養命酒本舖出張所

武田發賣品

胃腸病にアペチン錠

一、胃弱の方

一、慢性病衰弱の方

一、肺結核で食慾のない方

〔適應症〕

消化不良　食慾不振　常習便秘　便通不整　脚氣・貧血　榮養障害　乳兒脚氣　發育不良　小兒消化不良　腸內異常醱酵　病後榮養增進

〔藥價低廉〕

五五錠（四〇錢）

二〇〇錠（一圓）

五〇〇錠（二圓三五）

一〇〇〇錠（四圓五〇）

發賣元　株式會社　武田長兵衞商店　大阪市東區道修町

關東代理店　株式會社　小西新兵衞商店　東京市日本橋區本町

神經衰弱的症狀……に惱める方に

明朗なる生活へ！

どこと云つて著患はないが、仕事に倦き、疲れ易く、頭腦が朦朧とする、根氣がない、血色も惡い、食べたものが消化不良で榮養にならない樣に思はれる、胃腸に力がない。これらの神經衰弱的症狀は、多くは胃腸疾患に起因してゐる故にさう云ふ人は、大抵胃腸の强化療法によつて生活を明朗化することが出來る。

アペチン錠は、胃腸の活力を增し、運動機能を亢進して胃腸筋に張りと力とを與へるから、かゝる人々に特殊の應用價値を見出す。

35—585(O)

アメリカ政府が銀貨輸入を禁止す

銀價奔騰による支那メキシコ等の銀貨國困惑に鑑みて

【ワシントン二十日發電通】米政府が銀買上開始後世界的に銀價昂騰を來し支那、メキシコその他各銀本位國が銀及銀貨の流出に悩んで銀輸出禁止その他の方策を講じつつある實情に鑑み米政府は愈々銀貨の輸入禁止に決定しモーゲンソー財務長官は二十日夜次の財務省令を公布した

アメリカ政府の銀買上政策に基き銀價昂騰するに至つた結果各國において銀貨が潰廢される實情に微し今後銀貨の輸入を一切禁止する今回の手段は各國政府と協力して各國國民を援助するの手段に外ならぬ

米の銀輸入禁止に金票相場急騰す

【上海廿一日發電通】久々低迷を續けた上海標金市場は今朝へ銀輸入禁止を發布したと云ふワシントン電報を受けて一氣に八十四弗八と騰騰した、殆ど全高を移し對七と十弗方發躍して始め跡アメリカ財務省當局はメキシコ、支那等の猛烈なる抗議に依り愈々廿日夜方針を軟化した、日間の爲替相場は百四十一両四分三猶引へで前日に比し二両四分三二十八弗九十一仙となつた

會社名	件數	金額
大同	一,〇〇〇	一,二六〇,〇〇〇
日本勸業	七〇〇	八六〇,〇〇〇
片倉	五〇〇	八六〇,〇〇〇
愛國	三六〇	六〇〇,一〇〇
住友	三三〇	四〇〇,〇〇〇
第一徴兵	二七〇	三六〇,〇〇〇
昭和	二〇〇	三三〇,〇〇〇
福徳	一	一

内地生保事業 百十三億萬圓 逐月躍進著し

生命保險協會調査の内國二十二社の保險社の二月中の新契約は十二萬八千八百四十九件一億九千百六十三萬七千圓で純增加は八萬九千六件一億三千三百一萬八千圓の增加であつた而して月末現在總契約高は八百三十一萬六千五百五十七件百十三億一千三百六十二萬六千圓であつた、次に其の種類別新契約高を示せば死亡は九七、一六六件一六八、三七九千圓生存八、五九四件六、三九五千圓徴兵二三、〇八九件一六、八六二千圓であつた又二月中の收支狀況は收入保險料二千八百五十三萬二千圓で前年に比し一千九百三十八萬五千圓の減支拂保險金は一千九十九萬二千圓で前年に比し三十九萬二千圓減返戻金合計は二百十一萬八千圓で前年に比し三十八萬圓の減である

全國四月中の手形交換高 枚數は增加し金額は減少す

東京手形交換所調査の四月中に於ける同町手形交換高は枚數百十九萬五千三十五枚、金額十八億七千六百五萬二千圓で之を前月に比すれば枚數は二百三枚の增加ながら金額に一億七千二百八十八萬九千圓を減殺した、之は主として株式市場が極度に閑散で公社債の拂込假勘資金の移動また不振なりし結果で諸種小切手の著減が之を反映して居る

米日爲替反落

【ニユーヨーク二十日發聯合】休れ行き相場反騰す信州上一番見當四圓高、先限六五二圓と四十二圓高、引續き各銘買氣盛へず弗々賣相場六百二十圓と前電より五圓高

島内契約の各社生保概況 二億二千萬圓を突破

【總督府調査】昭和十年二月中島内契約生命保險事業狀況は月末現在契約高は十四萬七千五百六十一件二億二千二百八十八萬一千九百六圓にして前月に比し二千七百二件二百八十九萬六千百九十四圓の增加を示し更に前年同月に比し二萬九千九百二十四件四千四百二十一萬三百六十一圓の增加を示した本月末に於ける各社の契約高を示せば次の如し

會社名	件數	金額
千代田	三七,三六	四〇,〇三六,六九
帝國	二〇,四四	三〇,九九九,一五四
明治	一七,〇四四	二九,六六九,二五三
第一	一三,三七〇	二六,六六九,二五九
日本	一三,六〇四	二二,八〇三,四二〇
安田	一三,六六七	一七,八二一,七六六
第一徴兵	七,一〇六	七,一三一,八〇〇
東洋	五,一〇七	六,六二八,三四
日華	四,八九六	六,二〇六,八五四
日清	五,九三一	五,六八九,二〇〇
太平	五,一〇九	五,九〇八,八四〇
三井	三,五四四	五,六二四,〇五〇
野村	三,八二〇	三,八四〇,一四六
常盤	二,八六二	二,二三四,二三四
大正	一,七七七	一,八八〇,八八六

生絲は反騰

某所入電によると二十日の横濱絲況は定期前限六一六圓と前電より

畜社の養豚

蕃人に對する養豚は近年當局に於ても相當力を入れ蕃社に文化の向上を來しつつあるが、蕃社方面の養豚は漸次の發展を見て比較的早くより飼育されてゐる、蕃社にバーラン社の如きは蕃豚から種豚を得る等に努力して豚舎を新築してゐる……(寫眞はバーラン社に於ける豚の飼育)

支那の關税改訂 引上率は五分 實施は七月一日に延期 我當局對策協議中

【東京特電】支那政府の全般的輸入關税引上に就ては我政府に於ても支那側の動向を注目してゐたところ十一日、一時關米と蓬萊との價格差が……五パーセントであることが判明した、外務及大藏省當局は、これに對して……

一期蓬萊の移出契約高 七十萬袋に達す

……

新式九社の産糖 千五百六十萬突破 製糖末了は尚三社

各製糖會社の二十一日迄に於ける製糖作業を終了したのは臺東、新興、明治、昭和、鹽東、恐東の六社で大日本、臺灣、帝國の三社は何れも一箇月作業中であるが、終了した六社の製糖高及び各社の豫想は次の通りである

茶業の震災被害 七十八萬三千圓 督府より復舊補助七萬圓

震災の被害による震災地帯下の茶業關係の損害は……

蓬萊保合ふ 丸糯は急反撥

【神戸二十一日發本社特電】一期蓬萊米は再び保合期に入つた感があり北部物九圓七十八錢乃至七十七錢、中部物九圓九十五錢と三井三菱等大手筋賣りのまゝ保合である……

南部蓬萊の出廻多く現物崩落 船腹不足も一因

高雄州下の一期蓬萊の……

臺銀の支店長會議 廿七、八、九の三日間開催

雨期に入つても製鹽作業を續行 今年からの新しい試み

對玖馬貿易の打合會

【東京二十一日發本社特電】商工省より寺尾貿易局長以下外務省……

屏東芭蕉增出

取引所外の投機取引取締 ラヂオ利用の投機各地に跋扈

硫安の低落望み薄し 外安輸入も大して效なしと豫想

東港を殿りに臺糖の製糖終了 産糖四百四萬三千餘擔 步留一割四分三厘八毛

商況(廿一日)

米況

臺米現物相場

基隆在庫米(二十一日調査)

高雄在庫米

臺中米價(二十一日)

大阪期米後場

東京期米後場

神戸期米後場

堂島兩建玉並限後合

堂島前場先限主なる手筋

堂島前場先限兩建玉主なる手筋

堂島大引前場

株式

大阪短期後場

大阪長期後場

東京短期後場

東京長期後場

堂島雜觀

東京株況前場

穀肥

大連特産

神戸豆粕

大連特産前場況

銀塊

大連銀塊前場況

絲況

大阪綿絲

大阪綿花

大阪人絹

横濱生絲

砂糖

大阪清算

肺=氣管支炎 肋膜 テラピア 外用藥

呼吸器系の疾患では概して消化管が疲れてゐる、隨つて胃腸は専ら榮養の吸收のみに當らせて體力を維持せしめるが良く、これに種々の內服藥を與へ藥剤による重壓と刺戟からなるべく避けるが宜いとされます。

テラピアはこの目的に應用して皮膚から患部に直接吸收されて內服藥と同様に作用し、深部病菌の活動を減殺する結果、發熱及び疼痛を去り、咳嗽を和らげ、安けき睡眠を得せしめます。

滲性肋膜炎の如き滲出液の多い場合に穿刺排水後に應用すれば、爾後の貯溜液が著るしく減じ或はそれを見なくなり經過の迅速に可良に赴くを見ます。

日晡潮熱あるときなど、毎日の熱發に先だちテラピアを胸部に展布すれば、病竈に於ける細菌の活動を衰へしめ、體溫が平熱以上に昂騰することを阻止し得ます

東京・大阪 田邊商店

鐵道受驗就職 公認 東京寫眞學校

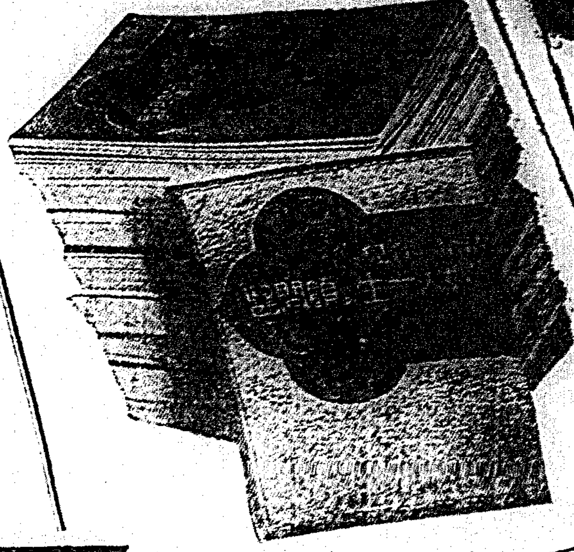
トップコースター 商工省推定 優良國産品

愛用者大奉仕

全國藥店にて

わかもと御買上の方に下記の二品

一斉に無代進呈（六月二十日より）



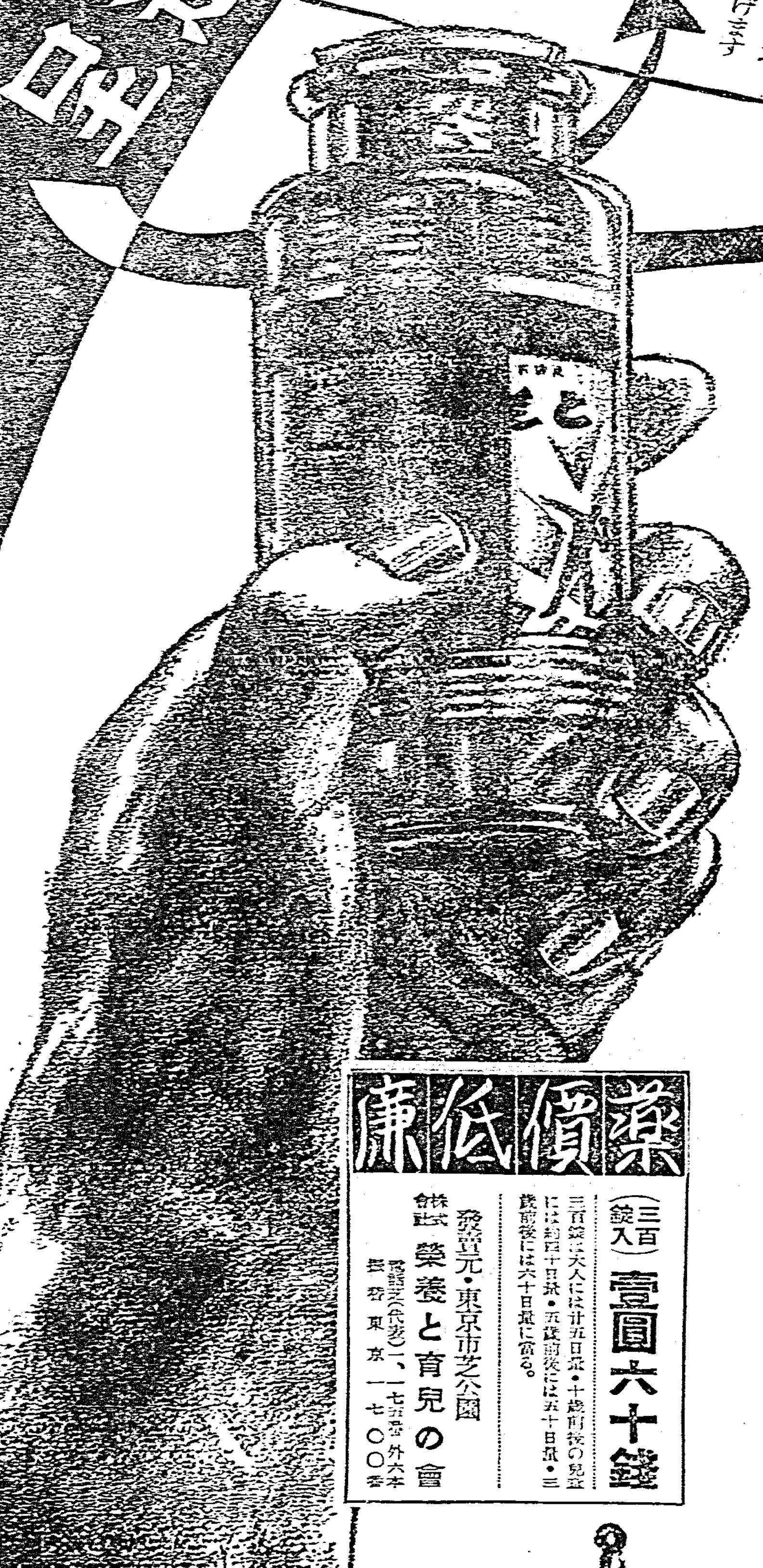
結婚から育兒まで　婦人一生の顧問醫

醫學博士　中島精先生著

わが國婦人科界の權威醫學博士中島精先生にお願ひして、御婦人方や赤ちゃんに多い病氣の徴狀・病理、手當方法等を最新の學理に基き平易に記述して戴いた御家庭になくてはならない册子です。

錠劑携帶用小型容器

右の册子の他に左圖の如き美麗なる金銀燦爛携帶時給の携帶用小型容器を添付進呈いたします。御家庭や御旅行の際にはすこぶる便利で、かつ優美な品でございます。何卒この好機を逸せずお求め下さいます樣願ひ上げます



胃腸 榮養 錠劑 わかもと

『また腹こはしてですか』

弱腸を強腸に

腸の弱い人は短命です

腸は人體榮養の本源ですから、ここの弱い人は、水源の涸れ易い發電所を抱つた工場と同樣で、あちらにもこちらにも故障續出し、到底思ふ樣な仕事は出來ない許りか、早く老衰し短命に終るほかありません。

顏色が惡く、頭痛や眩暈がしたり、不眠に惱まされるかと思へば、居眠り許りしてゐたり、始終いら〳〵して、氣分が變り易く、何をしても早く疲れて、根氣が續かぬといふ樣な人は、必ず腸が弱い人です。結核、神經衰弱、貧血はかういふ人に取り勝ちです。

腸の組織を強める藥

さういふ人は、純正ヘーフェ菌から造られた「錠劑わかもと」を用ひて御覧なさい。この藥は、在來の化學的な整腸劑などの樣に、藥の力で一時的に下痢を止めたり、通じをつけたりするのと違つて、腸の組織を組織してゐる細胞の、いろ〳〵な機能のもとたる細胞エンチームを強めて、腸自身の力で自然に下痢がとまり、あるひは通じがつく樣になるのです。

下痢も便秘も理窟は一つ

例へば腸カタルで下痢の場合、從來の下痢止めは、腸の運動神經を一時的に痲痺させて、強いて便通を止めるといふ風であつたのが、「錠劑わかもと」を服むと、腸の組織が強くなつて、働きが活潑になる結果、自然に食物の消化、吸收がよくなり、不消化のまゝで排泄される樣な事がなくなるのです。

これは便秘の際でも同じ理窟で、從來の下劑の樣に油や刺戟劑で、無理矢理に押し出さなくとも、腸の働きが活潑になれば、自然に便通はついて來ます。だから飽くまでも生理的であつて、決して習慣になることなく、副作用も絶無であります。

自家中毒を防ぎ血色をよくする

「錠劑わかもと」の著しい特長の一つとして、腸内自淨作用といつて、腸内に繁殖して、自家中毒の原因となる、有害な黴菌を驅逐し、毒素を吸收する働きを旺んにしますから、自家中毒の産物である所の、頭痛や眩暈、不眠、貧血、あるひは皮膚の吹出物を防いで、血液を淨め、常に生々とした血色を保たせます。

藥價低廉

（三百錠入）壹圓六十錢

三百錠は大人には廿五日分・十歳前後の兒童には約四十日分・五歳前後には五十日分・三歳前後には六十日分に當る。

發賣元・東京市芝公園
株式會社　榮養と育兒の會
電話芝(代表)一、一七五番　外六本
振替東京一一七〇〇番

昨夜總督府廳舍の火事

火勢猛烈を極めて 四階内側廊下を全燒

消防、軍隊、青年團など總出動

午後十時四十分漸く鎭火

總督府が失火した……二十一日午後九時半頃總督府四階の高塔南側寫眞室附近から發火した猛火はたちまち四階鑛務課地質係室、地理係室、寫眞室、調査課、倉庫前廊下を全燒し各室及び風下の遞信、電力も一時は危險を感ぜしめる程で、急報と共に全市消防隊、南北兩署員、福田守備隊司令官以下幕僚、臺灣步兵第一聯隊、臺灣山砲兵大隊、憲兵隊、警官練習生、青年團、壯丁團等全力を合はせて消火に努めると共に急を聞いて駈けつけた石垣警務、小濱内務兩局長外府員一同も協力して警戒、重要書類持出し或は監視に狂奔の狀態である、その中に猛火は木造を燒き木の葉の如く廳舍の中庭に轉落する音、藥品倉庫のマグネシユームが爆發する音など一時手のつけやうもない模樣であつたが、午後十時二十分に至り決死的消防は延燒中の四階に上り西方よりホースを向け猛火、猛煙の中に目ざましき活動を開始するや、見る〳〵内に火の手は弱り十時四十分全く鎭火を見たが、夕涼みの人達が廳舍を廻り十重二十重に取りかこみ全市異常な興奮狀態に包まれた、更に警察當局では直ちに發火原因、損害額の調査を開始した

小濱、石垣兩局長が 駈付けて消火の指揮

ホースを上げよ、ここに[illegible]が出てゐるぞと目を血走らしてゐる、火[illegible]のすぐ下は[illegible]たけ[illegible]理[illegible]務[illegible]長はじめ全員[illegible]であつたが[illegible]に[illegible]猛火もここ[illegible]ぬ、三階から二階、一階といづれも部署について

警戒し [illegible]拔かずにしまつたのは不幸中の幸であつた、民間では[illegible]が逸早く[illegible]口に駈けつけ小濱、石垣兩局長と長官公邸に[illegible]もう大丈夫とホツト一息すると長官一行は十時二十分新竹[illegible]自動車で歸北した[illegible]時はどうなる事かと案じられた火事も四階の南方の廊下だけを燒失して同十時半鎭火した

高塔高く物凄い火の粉は上り 全市を擧げての大騷ぎ

アノ總督府がマサカ火事とは…を裏切つて高塔高く火の粉が立ち上つたので我等の總督廳舍が火事だとばかり臺北全市民が戶外に飛び出すといふ大騷ぎであつた、長官はじめ田端專賣局長、深川文教局長、玉野社會課長など苗栗の慰靈祭に出張しての留守中なので留守を預かる小濱内務局長は[illegible]ゲートル姿甲斐々しく、又石垣警務局長は和服姿で

逸早く 駈けつけ、火の粉飛ぶ三階・四階を駈け廻つて指揮をする、火勢は四階の寫眞室を中心に左右に擴がつて火焰天に沖し物凄いが、すぐ下の三階は[illegible]書類をとほして[illegible]に備へるため取り片づけに大童である、防空演習に總指揮した[illegible]田警務課長はここぞとばかり聲をからしてあちらに飛びこちらに走つてゐる、石川州[illegible]務部長も最前線に出てもつと

總督府廳舍の火事 （上）盛々燃えさかる總督府四階（海野商會屋上より撮影）（中）警防團員必死の[illegible]ものものしき總督府[illegible]負傷せる府[illegible]守衛を救ひ出す救護班（下）四階屋上より地下に投棄されたる[illegible]

平塚長官は昨夜 新竹から直ぐ歸北

内務、警務兩局長から狀況聽取

[illegible]慰靈祭に參列のため新竹にあつた平塚長官は先づラヂオで[illegible]を知り直ちに歸北し十一時五十分[illegible]に到着し内務局長、警務局長より[illegible]狀況を聽取した、當日は消防、警察、軍隊、青年團、在郷軍人、消防組の各團體の[illegible]なる出動により消防と警備は[illegible]極めて[illegible]行はれ大事に至らず、[illegible]に防止出來たが總督府には小濱内務局長、石垣警務局長、深川文教局長、各部長、課員の大部分はそれぞれ[illegible]

損害は十三萬圓位

寫眞部員や守衛を 南署で取調べ開始

[illegible]

御眞影と教育勅語 詔書など御無事奉安

昨夜直ちに憲兵隊に

出火を知つた[illegible]は[illegible]新井[illegible]は[illegible]御眞影、敎育勅語、[illegible]奉安した

物品の持出しや 消火中に四名負傷

殖産局[illegible]務課の[illegible]は四階の鑛務課の寫眞室が火元なので[illegible]よりも眞先に火元の隣室に飛込み品物を持出す刹那に手の甲を挫き大塲隊に於て治療中、又消防第一部小[illegible]西村助次郎氏も不幸右手の首の[illegible]を切斷、直ちに赤十字病院に入院したが[illegible]全治一週間位の模樣である、[illegible]當番勤務であつた守衛[illegible]七郎（[illegible]）は失火と同時に駈けつけて[illegible]御眞影に駈け込んだが未だはおかぬので無理にガラスを破つて入らんとした際左手首を負傷した、また中[illegible]の久保田氏も消火中[illegible]に全治一週間の負傷をなした外[illegible]輕傷程度のものも相當ある模樣である、大塲隊に入院した[illegible]君は語る

私が駈けつけた時には[illegible]さんが[illegible]で煙と火の子の中を勇敢に責任を果さんとしてをり私もお手傳ひせんとしてゐた際怪我をしたのです

藥品倉庫の方に 最初、黑煙を發見

當直守衛の遠矢氏が語る

總督府[illegible]の火事を眞先に發見した守衛[illegible]遠矢金[illegible]は[illegible]をはずませ[illegible]最初の模樣につき語る

私は[illegible]階の[illegible]商工課前まで來たとき何だかをかしな臭ひがしましたので、商工課の室内に這入つて見たが何の異狀ありませんでした、それから特產課の前を通り課内で二人の職員が夜業してゐるのを眺めつつ四階に上つたら愈々熱い風が顏に當つたので走り寄つて見ると、藥業組合[illegible]前の[illegible]の方（現在は土木課の藥品倉庫に充てられてゐる）から黑煙を吹き出し部屋の下部は既に赤くなつて居りました、發見の時刻は九時三十分で、之は大變だとばかりに街を飛んで宿直の野田[illegible]に急を報じ、再び火事場に引返したときは藥品がバン〳〵爆發して最早や近くへ近寄れませんでした

れ受持の各課に駈けつけ書類の搬出や警備に一絲亂さぬ統制の下に必死の活動をなした、同十一時からは小濱内務局長、高橋文書課長は府[illegible]各部の各部署を巡回し出動した各團員の勞をねぎらひ、後始末を命じた、同十二時半頃までに可[illegible]散亂した書類等を大體に纏め終つた、當日は消防組、青年團、[illegible]警察官、總督府生徒[illegible]何れも目覺ましい活動振りであつたが、軍隊の出動は一聯隊、山砲隊等の出動及び活動は[illegible]で總督府側でも非常に感謝してゐた、特に福田守備隊司令官、桑木參謀長、土[illegible]服部參謀等も時を移さず現地に向つた

新竹州下の遭難者 涙も新たな慰靈祭

きのふ苗栗で擧行

一昨年四月二十一日の[illegible]新竹州下[illegible]震災遭難者[illegible]慰靈祭は四月二十一日の[illegible]より恰も一ヶ月を閱した五月二十一日午後一時十五分より苗栗街第一公學校庭に於て[illegible]式により執行された、[illegible]祭場正面に一段高く設けられた

祭壇は 各方面よりの供物で滿たされ、その兩側には中川總督、平塚總務長官、[illegible]下[illegible]局長、各部局長その他全島官民有力者及び島内日刊新聞社[illegible]内地大朝、大毎兩社より寄贈の[illegible]花環、花輪等[illegible]に飾られ、[illegible]正面には[illegible]各地各市郡の[illegible]

[illegible]祭詞、祭主内海知事の祭詞、[illegible]總督代理[illegible]長官の祭文朗讀後[illegible]新竹州教育課長は[illegible]野新[illegible]首相[illegible]文相[illegible]等各界の[illegible]

新田社 その他[illegible]弔電披露あつて祭主内海知事、新竹市、竹東、竹南、苗栗各郡の遺族代表者、總督（平塚長官代理）文教局長（深川文教局長）武官（總代）[illegible]中佐、[illegible]代表[illegible]民[illegible]の順で玉串を奉奠した、遺族の[illegible]は代表者一名が祭壇に上り他は全員祭壇前に參列したが中には六十を過ぎたと思はれる

纏足の 老婆あり[illegible]トボ〳〵と纏足でふく步く姿に參列者一同の涙を絞らせた、次で[illegible]讀經、蹈祭の儀あつて午後二時四十分[illegible]慰靈祭が終つた

れ、[illegible]正面には[illegible]島[illegible]各市郡の[illegible]參列者は[illegible]九百九十名[illegible]同行員には州下各市尹、郡守、街庄長、學校長を始め全島各地よりの代表者及び州下職員、婦人會員、各宗[illegible]等

合せて [illegible]名[illegible]

[illegible]岡[illegible]長を始め午後一時十五分[illegible]臨み午後一時十五分奏樂裡に平塚長官、服部[illegible]等深川文教局長、内海知事[illegible]の參列に[illegible]殿下に[illegible]了し[illegible]新竹神社宮司によつて[illegible]

けふの天氣

△臺北地方　東の和風晴一時驟雨
△北部地方　東の和風晴一時驟雨
△昨日の最高温度八十七度三（正午）
（臺北測候所發表）

兩州强震罹災者 救援義金領收報告

（四月[illegible]日よりつづき）

金[illegible]圓也　臺北市小南[illegible]株式會社

[illegible]

累計　金拾四萬壹千五百八圓八拾貳錢也

臺灣日日新報社

謝近火御見舞　臺灣總督府圖書館

謝近火御見舞　[illegible]　鈴守田洋行

謝近火御見舞　帝國生命保險會社臺北支店

謝近火御見舞　山崎醫院

謝近火御見舞　板谷醫院

謝近火御見舞　内保齒科醫院

謝近火御見舞　谷口病院

謝近火御見舞　倉橋寫眞館

謝近火御見舞　臺灣電力株式會社

近火御見舞御禮申上候　交通局遞信部

父治作儀豫而病氣ノ處養生不相叶五月二十日午後八時鄕里和歌山市扇之芝自邸ニ於テ死去致候間此段御通知申上候也
追而葬儀ハ[illegible]
五月二十一日
男　清水七郎
友人　田端幸三郎
同　佐々波外七
親戚代　本多保太郎
同　堤正威

慰靈祭參列御禮
昭和十年五月二十一日
東勢郡役所
石岡庄役場
東勢街役場
新社庄役場

芳乃館
絕讚の前篇に勝る珠玉篇見落す勿れ
引續き上映　貞操問答　後篇　都會の巻
大阪　妻得意の亂舞篇
人斬り猪之松　豫告
二十三日より

新世界館
突如明日より大公開
世界大洪水
北進日本　愈々今晚限り

臺北聖廟第二期工事 按博覽會前完工
與指南宮倶成遊覽勝蹟

臺北聖廟。第一期工事。早經完竣。本欲即將第二期工程。因建築後未幾。財界反動。致寄附金不能悉數徵收。現以臺灣博覽會開期切迫。內外觀光客今秋定有數十萬人乃至百萬人展此。臺北一名蹟之聖廟第二期工程。已不容歇置。爲此崇聖會熱心家。鼓舞再建欞星門。泮池。後門禮路於現聖廟構內。其前庭地址若不足。卽欲擴張至廟前道路。欞星門所需石料萬餘圓。經已買完。而木工土工及材料。尙須萬餘圓。目下石工土木匠人已來着手。按至博覽會前完工。此工事若畢。乃再建魁星樓及文昌祠。建造外牆。廟宇施以金碧。總督府將於本年度及明年度各補助一萬圓。崇聖會長辜顯榮氏寄附二萬圓。黃德除黃贊鈞二氏。合同寄附一萬圓。已提出八千圓陳茂通氏其他。合計寄附萬餘圓。而前年未回收之項。此際因行工關係。當有蹈踏再提出者。此未回收金中。按可再徵收數千圓。博覽會前。聖廟與指南宮。各大加整頓。俾成臺北觀光名所。董事者竭力措置云。

臺北青年團 團長會議 廿三日開會

臺北市聯合青年團主催青年團長會議。訂來二十三日午後七時半。開于市役所會議室。是日磋商事項
一、青年團幹部講習會所關件。
一、昭和十年度臺北州聯合青年團行事計畫所關件。
一、臺北市聯合青年團報發刊所關件。
一、其他。

任。自是五州二廳水產會已設立。而所剩者。只花蓮港廳云。

全島理蕃視學磋商 開于督府二階會議室 局長訓示後附議事項

全島理蕃視學磋商會。去二十一日午前九時。開于督府二階樓會議室。府一邊石垣警務局長。鈴木理蕃課長。吉田。山下兩督視。地方有遠山臺北。今泉新竹。並大森臺中。二木臺南。二木森高雄。伊集院臺東。後藤花蓮港各視學出席。定刻。石垣局長訓示。乃入磋商事項。一、關兒童教育改善之件。二、青年指導之件。各熱心交換意見。協議指示。又二十三日起三日間。赴角板山。竹頭角。馬武屈等。將就教育所。視察教育狀態云。

全島高等警察 課長會議

全島高等警察課長會議。二十日午前九時。開于明石町警察會館。根井臺北。小澤新竹。堀臺中(代理)。半田臺南。松村高雄(代理)。各州高等警察課長。手具花蓮港。佐々木臺東。水野澎湖各廳警務課長出席。石垣警務局長訓示後。山本事務官。說明選舉取締規則。次就各州實情。殊如選舉關聯之民情。有說明及聽取。種々磋商後。于午後四時半散會。又二十一日續開。

臺東廳下 設水產會 現申請認可

臺東廳。此次設立水產會。而爲廳下水產業發展進出。業于去三日。開創立總會。現正對總督府當局。申請認可。同廳下水產業。自新港漁港完成以來。以新港爲中心。每年異常發展。若合廳下定置漁業者。現在六百三十人。此則全部爲水產會員。一俟總督府認可後。便爲各種手續。而會長擬內定臺東廳長就任。

後因美國財務省銀貨輸入禁止報到。人氣愈軟化。逐破三十圓。大關大引二十八圓六十錢。人氣軟弱。限前雖免反動低落。成盤四百九十萬圓。

先限蓬萊米 初市軟調 南部日出二萬

南部蓬萊米。因日來好天氣。登市漸多。若至月末晴天。當有二十二三萬袋可出。目下每日收成約二萬餘袋。全島移出力。初按九百萬袋。因各地稻熱病發生。收量相當減少。二千八百萬袋說頗有力。二十一日七月五日限新市鼓舍價九圓二十二三錢。低於中限約十錢。當限場內雖無成盤。場外九圓四十五六錢。南部天候。若繼續快晴。則六月五日授受期當無欠米。當先限相去約三十錢。賣派皆欲賣此限而授米。又期米形勢。因政府擁下米尙欲續行。高價則賣米方面欲賣云。

震害復興豫算 千六百萬圓程度
中川總督談

中川臺灣總督。爲對于此次臺灣震災御救恤金御禮申上。並磋商復興豫算。搭二十日午後入門司港朝日丸。抵門司。同六時出帆。由海路東上。總督在船中。談如左。爲對于臺灣震災。侍從御差遣之御禮申上。參內然後與主務省。就今後復興。種々磋商。豫算之額。國費並依低利資金之地方負擔。合個人復興負擔金。大體在一千六百萬圓程度。其詳細非俟磋商後。不能發表。主爲鐵道復舊費三百餘萬圓。就家屋構造改築方法。依復興委員之手。現正急于草案。萬事一任該委員會。故現在不得一言。又對于此次未曾有大震災。對內地各位同情。十分感謝云。

大連銀軟化 破百三十圓臺

大連二十一日電。海外銀塊軟調。銀票先物百三十圓五十五錢。寄附低落。加味。更見落調。

特產低落

大連二十一日電。大豆因歐洲買氣委縮。不足期待。豆粕內地滿腹。豆油亦況不振。雖銀賤。奧地天候不良。收成懸念諸強材料。而賣買之整理未了。投物甚多。逐日漸落。今朝奧地急賣。價又續落。滿洲國內閣更迭。政局不安人氣。

軍部兩相 關機關說問題 要望首相速處
首相等三相各有所答

東京二十一日電。林。大角兩相。二十一日午前九時五十分。先後訪首相官邸。於閣議前。會岡田首相。關憲法機關說問題。要望政府從速措置。妥爲解決。而後於定例閣議席上。主張如左。或停憲法學說問題。政府處置以內務。文部兩省行政處置截止。夫本問題極重要。如或放置。陸海軍兩當局。極不滿。特對美濃部博士系統之大學講座。文部當局措置。及對同系統之出版物。內務當局處分。尙有未十足。期政府發明國體。十分努力。暗誦憲法學說國定問題。謂以陸海軍當局之要望。求首相考處。岡田首相所答如左。倚政府對本問題。處置截止。全然誤解。政府爲期國體明徵。所當爲根究則根究之。所當取締則取締之。政府態度無所變更。文部。司法各當局。從速處置。次後藤內相。小原法相。所答亦同方針。林、大角兩相。更要求如左。並其具體方法等。願十分研究。從速妥爲處置。是日會於閣議。松田文相缺席。具體問題。不別決定。國體明徵所關。政府全體相約從速善處。而決定比根本方針云。

定例閣議

東京二十一日電。二十一日定例閣議。午前十時二十分。開於首相官邸。岡田首相。以下各閣僚出席。但松田文相。山崎農相。內田鐵相缺席。林陸相爲淺瀨故致禮。又謂憲法機關說。與大角海相。質問首相意見。高橋藏相。町田商相等。亦關產業政策開陳意見。十一時四十五分散會云。

機關說事態 政府憂慮 四長老協議

東京二十一日電。[illegible]機關說問題。[illegible]再起。二十一日閣議。岡田首相。對各閣僚。就今後善處。披瀝政府方針。小原法相。後藤內相等。亦種々開陳意見。其成行頗堪注目。但爲松田文相旅行中。不到具體的結論。擬待其歸京。再爲慎重協議。政府頗要事態。閣議散會後。岡田首相。特求高橋。町田。床次三長老參集。種種商議。又調查局勅任調查官。銓衡亦艱。亦議及之云。

鈴木總裁訪問 山本条太郎氏

東京二十一日電。鈴木政友會總裁。二十一日午前十一時十五分。訪山本条太郎顧問。於赤坂私邸。就黨內外情勢。並對民政黨聯携破棄問題。黨之態度。其他黨之統制等。相與懇談。同五十分辭去云。

大命降下張景惠氏
滿洲國政府發表

新京二十一日電。滿洲國政府發表。國務總理鄭孝胥。辭表於闕下。今二十一日裁准。乃命參議府議長張景惠爲總理。[illegible]

謝外交部大臣 出爲駐日公使
新兼參議府參議

二十一日新京電。張景惠氏爲主班。組織滿洲國第二次內閣。其人物二十一日午後二時。正式發表。又駐日公使謝介石氏。兼參議府參議。

鄭總理 雖去政柄 猶留輔弼

東京二十一日電。滿洲國鄭國務總理。既解組。氏早萌退志。以養餘生。乃爲國政現狀所不許。遂至今日。然爲滿洲國皇帝陛下[illegible]。亦爲一段落。[illegible]眷顧。初力慰藉。後推之。鄭氏自皇帝陛下幼時即爲師傅。輔弼左右。今雖解組。猶爲元老。以備輔弼之重任云。

聯盟阿片委員會 要求理事會 請日本派代表

壽府二十日電。聯盟阿片委員會。決定要求理事會。招請日本派遣代表於委員會。該委員會之事決定。[illegible]

創立震災人夫 供給組合

資。三千圓。去二十晚持交本社。寄附震災地云。

新竹市北門三十三番地。平東商會李壽林氏。者番鑑及兩州下災民。臨時創設震災復興工事人夫供給組合。其主旨在乎對災害地食料品。住家等困苦者發爲復舊。復興配給運搬。其方法如左。一、一口限十名。二、使用期間二十日以上。三、人夫小屋依賴者負擔。炊事用具同上。四、希望者。對人夫一名。先給金三圓爲旅費。五、人夫給料一日男七角。女五角。

北白川宮能久親王 臺北御遺跡記念碑
訂廿八日朝舉地鎭祭

北白川宮能久親王殿下御遺跡紀念碑。擬建于臺北唯一之御遺跡地。即公會堂邊。欲于今秋臺北開催之博覽會期以前。得以竣功。現著々準備中。訂來二十八日午前十時舉地鎭祭。該記念碑。係用鐵筋混凝土及花崗石。高二丈八尺。幅五尺。厚二尺五寸。周圍飾以士林石。及花崗石。而碑之附近則鋪混凝土及草。豫算按一萬五千圓。敷地四百三十坪。將來爲臺北名所。碑文現執筆中。將託中川總督揮毫。碑之後面。記御遺跡由來。豫定至九月末竣功。十月初。舉竣功式云。

新莊宜蘭教聯 募義捐金 各千圓以上

新竹臺中兩州下大震害。臺北州下各郡敎化聯合會。自前繼起募集義捐金。最近略見齊集。此次募集義捐金。四方仁人。異常醵金。不待勸捐。大口義捐者。皆率先提交各募集機關。故各郡敎化聯合會員之募集。概屬小口零細。而得意外好成績。如至現在集初料總額千圓左右。而新交臺北州敎化聯合會者。千圓以上即新莊及宜蘭兩郡。爲茲將內容列次。▲新莊郡鷺洲庄七百九十二圓四十八錢▲五股庄四百十七圓五十七錢▲新莊街三百六十七圓四十三錢▲林口庄三十五圓五十錢。▲二重埔青年團五圓十六錢。▲五股女子青年團一圓。總額一千六百十九圓十四錢。就中大口者。新莊街李清芳。三重埔陳溪。五股庄林以傳三氏各三十圓。新莊庄二十五圓、陳石皮。及五股李紅兩氏各二十圓。又宜蘭郡敎化聯芬集額一千百八十五圓五十五錢。其中主要義捐者如左。▲宜蘭街敎化聯五百九十九圓十七錢▲礁溪庄同百五十六圓三十六錢▲員山庄同二百二十五圓三十四錢▲宜蘭小學三十七圓十錢▲同公學四十七圓十九錢▲礁溪公學十四圓三十九錢▲同青年敎習所三圓十二錢▲同女青團八十八圓四十一錢▲同公學第十五回卒業生四圓四十錢▲過嶺公學二圓九十五錢▲外員山公學四圓。▲員山第一公學三圓二十二錢。

蘭陽三郡撲滅豚疫 指定防遏區域四處
年强制豫防注射二回

蘭陽郡下豚疫。自數年以來。斃死者不少。致飼育者。逐年減少。當局雖已申請指定豚疫特別防遏區域中。最近始得實現。該指定區域。即宜蘭郡下員山庄外員山。壯圍庄過嶺。羅東郡五結庄利澤簡。蘇澳庄猴々。計四處。去十九日得州勸業課武上技師。田村技手等。應援。實施强制豫防注射中。顧該特別防遏區域。自本年起。凡三年間。對飼育豚全部。一年注射二回(春秋)。而飼育豚之移動。由他地方移入者。作成豚籍名簿。以防病菌侵入。在三年後。蘭陽地方得以絕滅豚疫。神令爲別特防遏區域者。自今回始。一般咸期待好結果云。

本柵保甲役員 節祝費爲義捐

文山郡木柵保甲聯合會役員。例於天長節佳辰。開祝賀會。上月特節其費用大部分。充爲震災義捐。日前由該會長張金地氏。交本社代爲分發云。

基隆市協議會員月例會 希望市助役增員
且難教科書配給遲緩

基隆市協議會員月例會。二十日午後三時。開于市役所三階會議室。幹事唄比氏就議長席。直入議事。有就新學年小公學校教科書。配給遲緩以難之。如是于進入上級學校之六學年兒童試驗準備。殊大影響。時由多喜教育課長答辯。次由幹事。以基隆市係港灣都市。市政事務比他都市甚忙。助役須增員爲二名。希由市當局。對于監督官廳申請。一由是乃移于市一遵提案之左記事項報告。一、海面掃除所關追加豫算件。二、屎尿賣却件。三、流腦豫防注射成績件。四、基隆神社例祭所關件。報告前手總代會。六月三日大祭。一般的行事。夜間燃放煙火。盡間打放百雷。裝飾神社境內。以外開活花盆栽會。其費用二百五十圓。又就各町內行事。欲聽意見。乃定于二十一日午後二時。開町委員會。日常置員會。而港祭自來年度考慮。五、水產館經費支出件。報告爲市財政關係上。一時由勸業協會融通借入金。六、慶道路分所關件。七、水道工場敷地移管所關件。

臨時競馬 在川端馬場

臺北馬事協會。訂來二十五。六兩日。及六月一二兩日四日間。決在川端賽競馬場。開臺北臨時競馬。以該競馬之剩餘金。爲圖馬事思想普及。與促進產馬。充爲今秋臺灣博覽會特產馬事參考館諸經費云。

北港街庄長會

北港郡。訂月二十三日午前九時。召集郡下各街庄長助役及庶務係主任于郡會議室。開街庄長會議。就改正地方制度諸問題磋商云。

宜蘭檢閱壯丁

宜蘭郡下壯丁團檢閱式。訂來二十三日。假宜蘭街設之北門口運動場舉行。現各庄部落。日夜熱心操練云。

簡保活寫 映寫之夕

臺北郵便局。爲優待簡易保險加入者。自二十二日至二十四日。每夜七時。映寫活動寫眞。又表町簡易保險健康相談所。夏期中(六月一日至九月末日)除日曜。祭日外。每日自午前七時。至正午。以應加入者之健康診斷云。

彰化市內 池塘塡埋
開磋商會決定

彰化市內蚕魚池。東門八處。面積三甲。南郭九處。面積五甲。於街之美觀上或衞生上。甚然不雅。而且每年溺死者數名。市當局乘此市區改正機會。欲全部塡埋。造成宅地。即去二十日午後七時。招集關係者吳士春氏外十數名。在市食堂。磋商懇談。而市尹。署長。古家行政主任等。亦均出席。其結果限至本年度末工事完了。右議至同九時散會。

制度改正及臺東 蕃人有權者十一人
街當局慎重考慮中

地方制度改正。于今秋將見初試練。臺東街民。到處以此爲話題。據街役場調查。九年度十二月末現在。二十五歲以上男子二千四百二十人。對總人口一萬二千九百十二人。爲六分。對二十七人爲二成九分比率。此其種族別。內地人四百五十六人。本島人二百五十人。蕃人十一人。議員數十二人中。其半數六人爲民選。即議員每人平均約百二十票。然此次有權者調查。臺東地方。有特異蕃人有資格者問題。即現住街內蕃人。約四千九百人。其中二十五歲以上男子八百五十九人。對此該當法規之有權者十一人。然阿美族習慣。係女權相襲。在稅額上。女具有資格者二百二十八人。而此二百二十八票。當出票數。爲男女關係。必然爲重要事案。現爲議論中心。當然乘此機會。要求改廢爲男權。然即時實行。乃打破向來母系等傳統。爲家族制革命。此或有惹種種紛擾。而至誤解者。[illegible]

員林郡興農 綜合品評
限本月內報告

員林郡興農倡和會。特以本年度一個年間爲期。將其開興農倡和村綜合品評會審査成績。陳列於員林公會堂。使一般觀覽。其採點方法。即定共同施設。採四百點。個人施設採五百點。然於各支部。對個人施設品評事項之現在狀況。限至本五月末日。要報告於本會也云。

帆船發動機船 被監視船 沒收船貨

中國貿易帆船金新興號。日前滿載貨物。出基隆港赴溫州。及福州諸發動機貿易船既南號。去十八日在廈門近海。皆被中國海關監視船發見。拘往廈門沒收船體及諸貨物。基隆貨主。已接到電報云。

對岸銀密輸出 管東寬和
盛京丸情報

商船北華航路盛京丸。去二十一日朝入基隆港。據同船所傳情報如左。對岸各地海關。對銀密輸出。嚴重警戒中。自二三月航海以來。頗見緩和。殊如福州海關。對乘客殆無檢查。一般料其先示寬和。俟各放心輸出大量時。即出押收。故多警戒中。即福州公安局。自五月初。公布阿片吸飲者之登錄特許制度。然諸吸食者。恐有後難。多走避他處。致登錄成績甚不佳。又最近輸出本島石炭。各地亦甚多。月平均有二萬噸。一面船腹不足。各地需要。不能圓滑。現由各貨主。講究善後策。石炭界漸見好況云。

横領賬項 捕往究問

嘉義郡新巷庄新巷八六六。現住嘉義市白川町四九江三立。年二十五。于夜間舉動可疑。由嘉義署張爾刑事。捕試詰果。知此人爲同市西市場內壽司店池田元吉雇人。發覺有横領主人賬項八十餘圓。目下留置究問餘罪。

被毆頻抱恨 推之墜崖

[illegible]小地名太平百六十番地集材夫陳獨。年二十九。去十八日午後四時。因作業關係。與監督矢野長四郎。被矢野毆打頰部二三次。迨午後五時。矢野歸途至集材第七號棧距千米之處。陳忽躍出。推矢野墜落高二百尺斷崖。負傷一箇月間。保全一命。陳在現場。被派出所員捕去。嚴行査究云。

大甲 保護者會

大甲郡大甲男子公學校保護者會。去十八日午後三時。在該校講堂。開役員會。審議會則變更。役員任期所關。會費所關。總會期日及諸行事等件。而會則變更。議決面會費每年九十錢。分三期。現改爲每月分納八錢。總會期日。即定來二十五日午前開會。本來參觀授業。若元校長致辭。至五時二十分閉會。

評定員會

同街大甲信用販賣組合。去十九日。在同組合。開信用評定委員會。就貸信金額高度件。貸出方法件。其他事項。懇談後散會。

竹山 郵筒蟲巢

竹山郵便局門前。[illegible]坂崎局長英斷。將該郵局改換。或檢殺蟲劑。擇除此等不良油蟲也云。

渡瀛者多

竹山郡下年來圖謀渡滿者日多。如前有廖揚清氏外數名。渡滿營商。又有去而復返。無所得者。最近有現滿洲國文教部學務司副參事。陳錫卿氏之弟世宏君外一名。訂來二十五日出西丸渡滿。擬投身于實業界。又郡人陳東興君。者番另退教育界。亦按來月入滿洲國陸軍士官學校。但近接錫卿氏來信。謂現同國狀況。實非如一般所期待之理想鄉。資除實業界以外。若率職者。雖有多少加俸。然卻未必比臺灣爲優。是故一般欲渡滿者。咸宜熟考云。

菜館批准

竹山街內。因年來農村景氣稍佳。依然一般花柳界。亦漸呈活氣。現在料理店三。珈琲店一。此回當街陳王圖外二名。以資數千圓。擬在元公有鳥宅。建設一中國式料亭。日前經得當局之許可云。

羅東 變更發車

羅東與天送埤間乘合車。爲圖旅客方便。者番得當局批准。自去二十日。將發車時刻變更及增加回數。

肥料數量

羅東郡下一街三庄。昭和十年第二期水稻用肥料。由臺北州農會兩旋之數量。即大豆粕有三千四十塊。過燐酸石灰二千三百五十六叭。完全肥料二千四百七十五叭。硫安九百五十九叭。硫燐安四百十袋。硫酸加里五袋。外其入札單價。即大豆粕一塊一圓十九錢四厘五毛。過燐酸石灰。一圓四十五錢九厘。完全肥料。三圓七錢五厘。硫安四圓四十八錢。同袋入十一圓二十九錢六厘。硫燐安五圓二錢八厘。而去十九日。於二結羅東及冬山各驛前運送店。交于申請者云。

板橋活寫公開

本社板橋取次店。及街教化聯合會之主催。映寫滿洲國皇帝陛下御訪日。及臺灣中北部震災實況之影戲。於去二十日午後七時起。在海山郡街前廣地。提供一般無料觀覽。是日觀衆。無慮數千餘名。頗呈盛況。

詩壇

中部震災感詠　謝尊五

天道總難知。災禍非常時。轟然地軸震。死傷不勝悲。村都成焦土。親戚各流離。目尙不忍視。道路橫積屍。死者不復生。生恐死於饑。拯救休容緩。待賑急燃眉。同是吾胞與。惻但發仁慈。復興權當道。最速俟來期。

地震行　陳福全

海東南島高砂島。美麗無雙佳山水。凌駕富士錫新高。巨靈擘天伸五指。新竹臺中兩州間。炎峰九九映紅紫。大安溪岸固堤防。民之聚族在於是。乙亥春季十九早。震禍倏從此地起。山崩地裂屋宇傾。天何不仁殲赤子。佛說世界本花花。一粟大千浩劫爾。棕峰測虹知預震。科學昌明實可誇。老少罹災傷慘產。黎民遭禍喪傾家。上達天聽聖明君。侍臣差遣視災群。死逾三千傷逾萬。屍山血海跡紛紛。內帑頒賜猶堪謝。發粟仁慈竟有償。空前未有此慘傷。石人覩之淚亦下。

瀛社擊鉢錄
松江觀釣　佛狀 參眼 選

左一右十一　根泉

絕好松江六色清。垂綸是處足埋名。一溪風月心身爽。十里煙波趣味生。我愛潮頭臺短艇。人欣岸上拂春鯨。謀侯垂落渭川叟。勝似朝中作九卿。

右一左八　子清

松江雨霽綠波生。坐看漁竿柳外橫。豈食須知投餌意。寧期勿忘羨魚情。已無世上爭淡慮。尊有金中得失爭。大好溪光歸掌握。乘輪時聽收明鯨。

左一右二　西林

[illegible]流人影裊裊殘。初夏松江入畫圖。爾下磯頭春水[illegible]

櫻花夢(下卷)
第八十回 談甘軍之英烈

山輝曰。甘將軍實亦人傑。有勇多謀。且不貪利祿。國姓敗金礪於海澄。甘將軍車兵遏擊。撤斬無算。論功行賞。授忠孝伯印。不敢受。巳而明主封國姓爲延平王。甘將軍亦有封王爵之議。甘將軍辭不受。王五百斤爲的。力能擧者。擢爲虎衞親軍。戴鐵面。著鐵裙。佩弓箭。執斬馬大刀。號爲鐵人。攻南京時。甘將軍等北上。衆號八十萬。中有鐵人八千。海陸並進。亦可見當時軍容之盛也。太平曰。舉五百斤石獅。殊不足異。吾師李標能有膂力。能舉千餘斤石獅柱行四五步。余亦能之。因自述其幼食化骨符。由兩幾死。家又謂甘將軍少時亦曾食化骨符。遂力大於虎。忠漢曰。若使弟生於當時。可與甘將軍並駕齊驅。山輝曰。甘將軍不獨以勇鬪。而亦大著有戰略。王出師每率以行。當進圍南京。攻破瓜鎭。甘將軍謂王曰。瓜鎭南北咽喉。從容坐鎭。斷絕瓜州。則山東之師不得出。兩浙之路不得通。南京可不攻而定。王不聽。將軍兵。甘將軍請遣陸以絕援兵。則南京勢孤難守。由海恐風信稽遲。援兵集矣。諸衆多云水路爲便。王從揚帆至南京。列營圍攻。甘將軍又進曰。兵貴神速。宜乘勢攻城。不然。援兵集。難以攻取。君必悔之。王又不聽。果爲清兵。諸將倉卒不及戰。遂有死者。有被擒者。甘將軍且戰且走。單騎馳驟。人不敢近。馬蹶被擒。入金陵。戰手罵不屈。遂爲所害。使人說降。將軍怒罵。但求速死。數日水漿不入口。乃引出斬之。神色不變。懸其首於市。有鵲不敢近。軍士以爲忠憂所感。兩而葬之。壓將軍萬禮。官總鎭。亦於此時陣亡。王回師廈門。建忠臣廟。祀死事諸人。以甘將軍爲第一。入哭甚哀。曰吾早從將軍之言。何致如斯。以文妻其子孟蒙。厚恤其家。今之塑像於王前。蓋亦生死不離之義爲耳。今於遺像。令人油發忠義之氣不少。(未完)

廣告

(漢文) 臺日案內
旅館
草山ホテル
新會方支店

會葬御禮